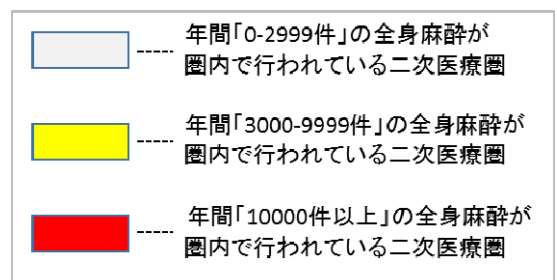
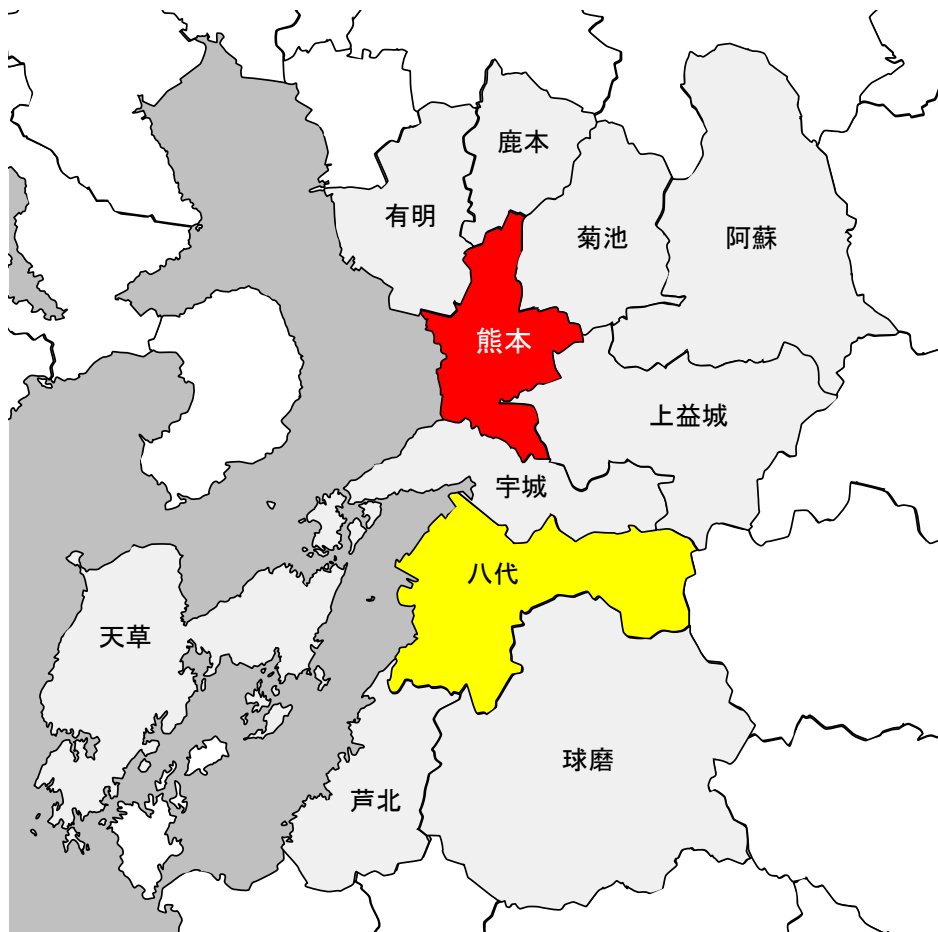


43. 熊本県



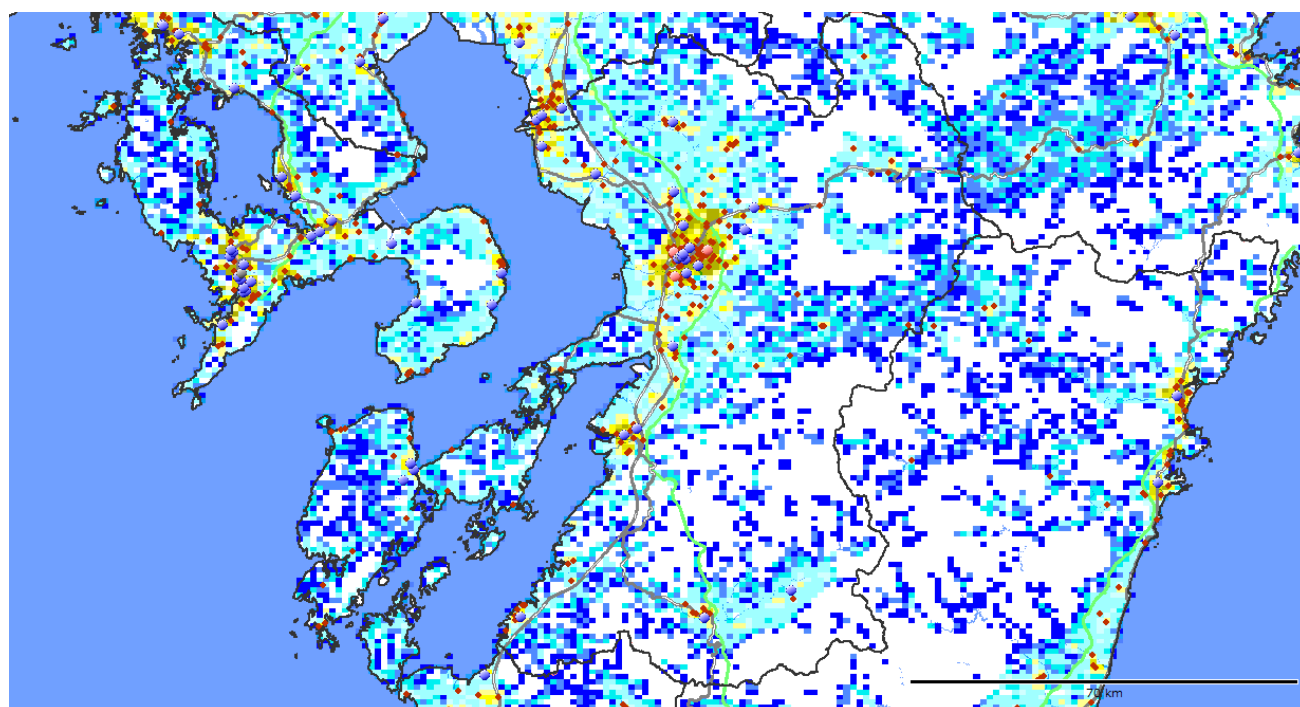
43. 熊本県

目次

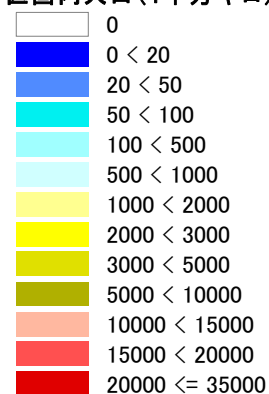
熊本県.....	43 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	43 - 7
1. 熊本医療圏.....	43 - 19
2. 宇城医療圏.....	43 - 23
3. 有明医療圏.....	43 - 27
4. 鹿本医療圏.....	43 - 31
5. 菊池医療圏.....	43 - 35
6. 阿蘇医療圏.....	43 - 39
7. 上益城医療圏.....	43 - 43
8. 八代医療圏.....	43 - 47
9. 芦北医療圏.....	43 - 51
10. 球磨医療圏.....	43 - 55
11. 天草医療圏.....	43 - 59

43. 熊本県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 熊本県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(熊本県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 熊本県は、総人口約 1776 千人(2015 年推計)、面積 7405 km²、人口密度は 240 人/km²である。
- *人口の将来予測： 熊本県の総人口は 2025 年に 1666 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 1467 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 276 千人が、2025 年にかけて 321 千人へと増加し(2015 年比+16%)、2040 年には 336 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 熊本県の一人当たり医療費(国保)は 340 千円(偏差値 57)、介護給付費は 283 千円(偏差値 59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 熊本県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.21、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.14 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 54(病院医師数 55、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 69 と非常に多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 60 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 熊本県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26241 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 18972 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 7269 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21507 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 53、介護療養型医療施設 60、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 44、グループホーム 49、サ高住 49 である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 60 と多い。介護職員(在宅)の合計は、3784 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は28923床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は20400床であり、その差は-8523床(-29%)である。

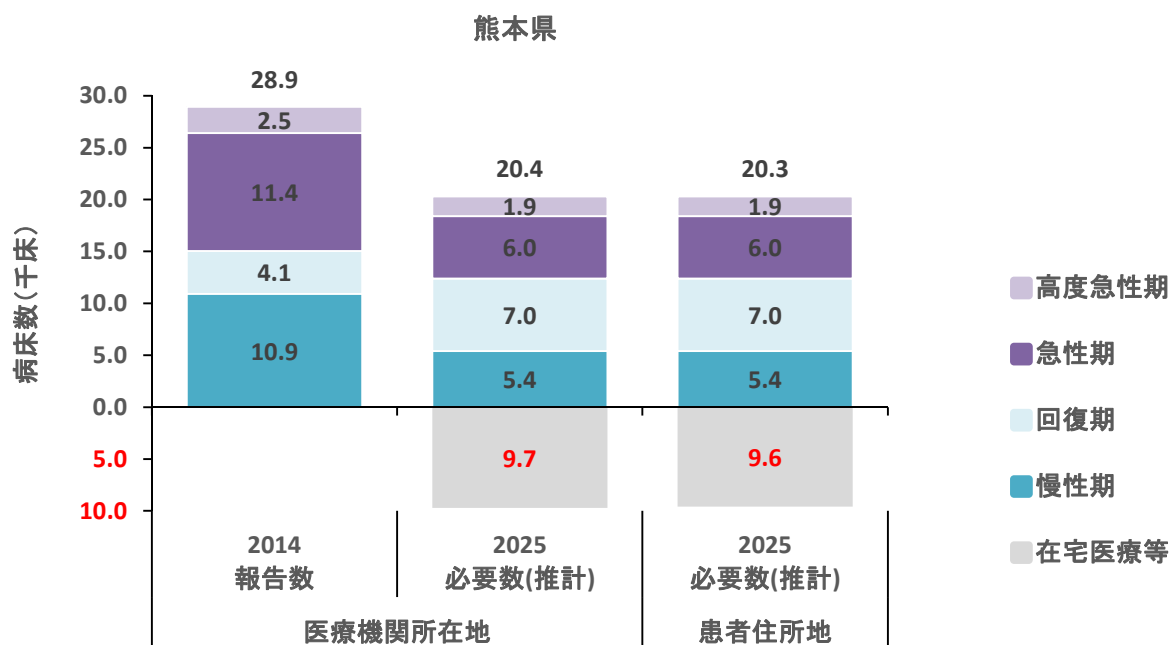
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2513床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1900床であり、その差は-613床(-24%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は11363床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は6000床であり、その差は-5363床(-47%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は4126床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は7000床であり、その差は+2874床(+70%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は10921床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5400床であり、その差は-5521床(-51%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は9700人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+5%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

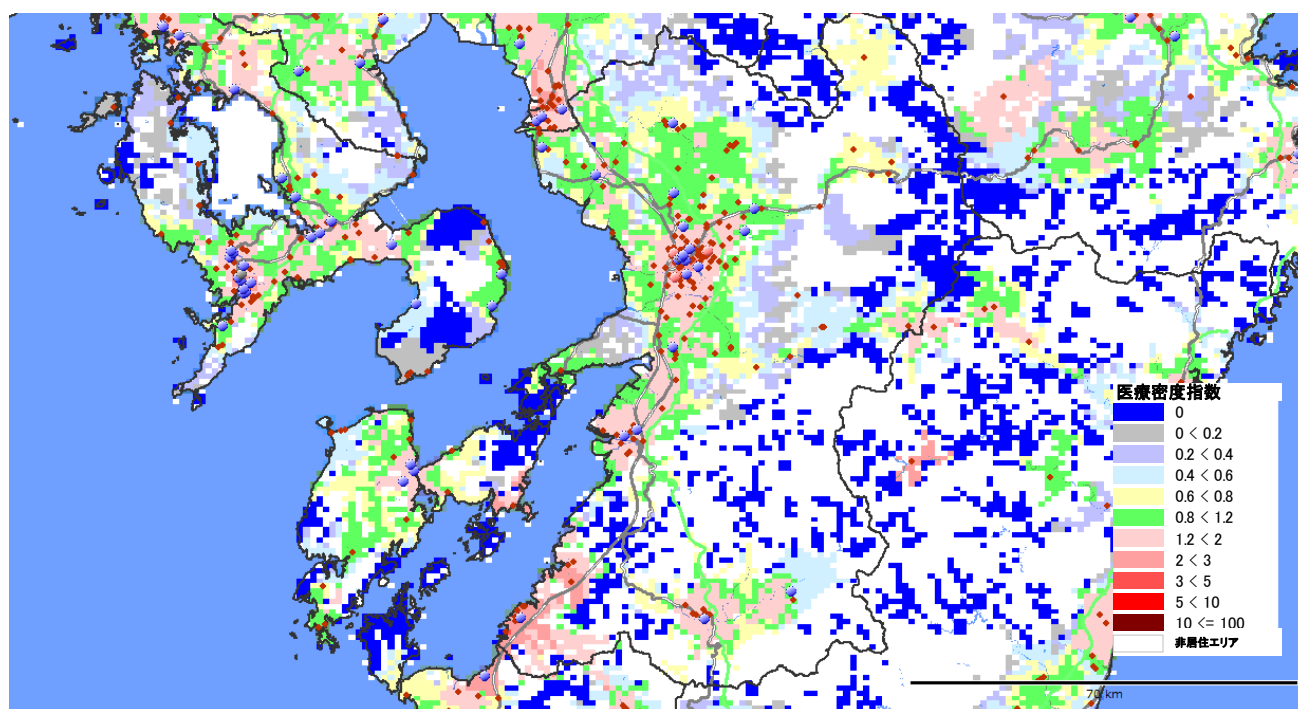
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

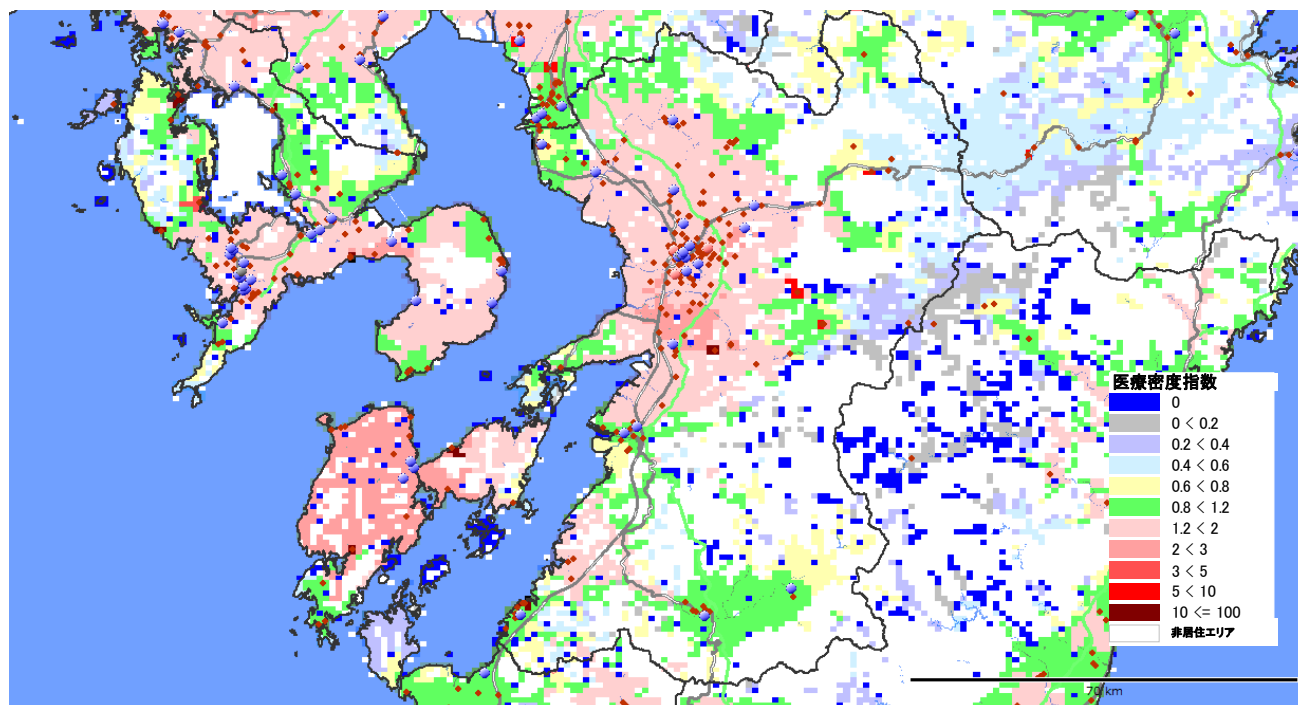
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 43-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
熊本県	1,776	23位	7,405	15位	239.8		29%	1,666	1,467	276	321	336	-6%	-12%	16%	5%
熊本	734	41%	390	5%	1,883.2	地方都市型	24%	715	659	91	117	134	-3%	-8%	29%	15%
宇城	108	6%	407	5%	264.3	地方都市型	31%	99	85	19	21	22	-8%	-14%	11%	5%
有明	162	9%	421	6%	385.7	地方都市型	32%	148	125	29	32	31	-9%	-16%	10%	-3%
鹿本	53	3%	300	4%	176.1	過疎地域型	35%	47	39	10	11	11	-11%	-17%	10%	0%
菊池	177	10%	466	6%	380.4	地方都市型	24%	179	175	22	28	32	1%	-2%	27%	14%
阿蘇	65	4%	1,079	15%	60.3	過疎地域型	35%	59	49	13	14	14	-9%	-17%	8%	0%
上益城	85	5%	784	11%	107.9	過疎地域型	32%	78	67	15	17	17	-8%	-14%	13%	0%
八代	138	8%	714	10%	193.8	地方都市型	32%	124	102	24	27	26	-10%	-18%	13%	-4%
芦北	48	3%	431	6%	110.3	過疎地域型	38%	40	31	10	11	9	-17%	-23%	10%	-18%
球磨	89	5%	1,537	21%	57.9	過疎地域型	35%	78	62	18	18	17	-12%	-21%	0%	-6%
天草	117	7%	876	12%	133.8	過疎地域型	37%	99	74	25	25	24	-15%	-25%	0%	-4%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 43-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
熊本県	1.21	2.14	5.4%	-9.9%	-15.1%
熊本	1.57	2.24	-3.9%	-34.3%	-53.3%
宇城	0.91	1.99	4.3%	-7.6%	-11.2%
有明	0.91	1.19	-0.8%	-12.7%	-7.9%
鹿本	0.70	1.09	-12.4%	-20.3%	-13.9%
菊池	0.91	2.77	-1.0%	-27.6%	-48.6%
阿蘇	0.48	2.52	14.8%	8.6%	9.0%
上益城	0.84	1.83	8.3%	-3.0%	-4.4%
八代	1.29	2.39	-7.8%	-19.1%	-14.0%
芦北	1.94	2.37	16.2%	14.7%	23.6%
球磨	0.95	4.56	10.2%	7.9%	12.2%
天草	0.86	1.65	6.5%	6.6%	12.6%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹ 日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

43. 熊本県

資_図表 43-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
熊本県	340	57	283	59
熊本	322	53	275	57
宇城	329	55	279	58
有明	368	64	299	63
鹿本	343	58	287	60
菊池	327	54	276	57
阿蘇	305	49	283	59
上益城	340	57	278	57
八代	320	52	290	61
芦北	473	89	284	59
球磨	346	59	311	66
天草	379	67	283	59
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 43-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
熊本県	214	2.5%	12.1	63	1,482	1.5%	83	52
熊本	94	44%	12.8	64	628	42%	86	53
宇城	12	6%	11.2	61	71	5%	66	43
有明	12	6%	7.4	52	131	9%	81	51
鹿本	6	3%	11.4	61	45	3%	85	53
菊池	16	7%	9.0	55	127	9%	72	46
阿蘇	6	3%	9.2	56	51	3%	78	50
上益城	13	6%	15.4	71	62	4%	73	47
八代	13	6%	9.4	56	129	9%	93	57
芦北	11	5%	23.1	89	49	3%	103	62
球磨	13	6%	14.6	69	86	6%	97	59
天草	18	8%	15.4	71	103	7%	88	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 43-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,528		79	(19.6)			72	(19.0)			7.3	(7.0)
熊本県	1,482	1.5%	83	52	1,119	1.2%	63	45	363	3.9%	20.4	69
熊本	628	42%	86	53	497	44%	68	48	131	36%	17.9	65
宇城	71	5%	66	43	52	5%	48	38	19	5%	17.7	65
有明	131	9%	81	51	95	8%	58	43	36	10%	22.2	71
鹿本	45	3%	85	53	32	3%	61	44	13	4%	24.6	75
菊池	127	9%	72	46	106	9%	60	43	21	6%	11.8	56
阿蘇	51	3%	78	50	39	3%	60	44	12	3%	18.4	66
上益城	62	4%	73	47	50	4%	59	43	12	3%	14.2	60
八代	129	9%	93	57	89	8%	64	46	40	11%	28.9	81
芦北	49	3%	103	62	34	3%	72	50	15	4%	31.6	85
球磨	86	6%	97	59	63	6%	71	49	23	6%	25.9	77
天草	103	7%	88	54	62	6%	53	40	41	11%	35.0	90
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 43-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,573,772		1,243	(510)			96	(111)			1,338	(576)
熊本県	35,240	2.2%	1,985	65	5,769	4.8%	325	71	41,009	2.4%	2,310	67
熊本	15,521	44%	2,116	67	2,065	36%	282	67	17,586	43%	2,397	68
宇城	1,954	6%	1,817	61	324	6%	301	69	2,278	6%	2,119	64
有明	2,521	7%	1,552	56	574	10%	353	73	3,095	8%	1,905	60
鹿本	840	2%	1,592	57	232	4%	440	81	1,072	3%	2,031	62
菊池	3,696	10%	2,083	66	357	6%	201	60	4,053	10%	2,284	66
阿蘇	971	3%	1,493	55	187	3%	287	67	1,158	3%	1,780	58
上益城	1,264	4%	1,494	55	198	3%	234	62	1,462	4%	1,728	57
八代	2,434	7%	1,759	60	610	11%	441	81	3,044	7%	2,200	65
芦北	1,555	4%	3,272	90	248	4%	522	88	1,803	4%	3,794	93
球磨	1,604	5%	1,803	61	335	6%	377	75	1,939	5%	2,180	65
天草	2,880	8%	2,456	74	639	11%	545	91	3,519	9%	3,001	79
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

43. 熊本県

資_図表 43-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
熊本県	16,683	1.9%	940	60	9,357	2.9%	527	63	8,947	2.6%	504	61
熊本	8,598	52%	1,172	70	3,629	39%	495	61	3,255	36%	444	58
宇城	701	4%	652	48	502	5%	467	60	647	7%	602	65
有明	778	5%	479	40	763	8%	470	60	976	11%	601	65
鹿本	375	2%	711	50	221	2%	419	57	240	3%	455	59
菊池	2,328	14%	1,312	76	469	5%	264	50	895	10%	504	61
阿蘇	313	2%	481	40	384	4%	590	66	270	3%	415	57
上益城	301	2%	356	35	576	6%	681	70	387	4%	457	59
八代	1,015	6%	734	51	599	6%	433	58	786	9%	568	64
芦北	776	5%	1,633	90	395	4%	831	77	380	4%	800	74
球磨	622	4%	699	50	574	6%	645	68	404	5%	454	59
天草	876	5%	747	52	1,245	13%	1,062	88	707	8%	603	65
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 43-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
熊本県	1,892	2.5%	107	60	1,298	6.1%	73	58
熊本	1,124	59%	153	70	716	55%	98	64
宇城	96	5%	89	57	104	8%	97	64
有明	148	8%	91	57	55	4%	34	50
鹿本	75	4%	142	68	46	4%	87	62
菊池	212	11%	119	63	94	7%	53	54
阿蘇	0	0%	0	37	19	1%	29	49
上益城	101	5%	119	63	51	4%	60	56
八代	61	3%	44	47	0	0%	0	42
芦北	45	2%	95	58	60	5%	126	70
球磨	30	2%	34	45	99	8%	111	67
天草	0	0%	0	37	54	4%	46	52
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

³ 福岡県、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資_図表 43-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
熊本県	42,168	1.6%	2,375	54	14,436	1.4%	813	49
熊本	30,708	73%	4,186	73	5,700	39%	777	48
宇城	1,044	2%	971	39	1,596	11%	1,484	72
有明	1,704	4%	1,049	40	1,080	7%	665	44
鹿本	552	1%	1,046	40	36	0%	68	24
菊池	1,704	4%	960	39	1,920	13%	1,082	58
阿蘇	12	0%	18	29	204	1%	314	32
上益城	60	0%	71	29	204	1%	241	29
八代	3,480	8%	2,515	55	1,116	8%	806	49
芦北	696	2%	1,465	44	408	3%	859	51
球磨	1,392	3%	1,565	45	936	6%	1,052	57
天草	816	2%	696	36	1,236	9%	1,054	57
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 43-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
熊本県	5,207	1.6%	293	54	3,468	1.7%	195	55	1,739	1.4%	98	51
熊本	2,948	57%	402	66	2,157	62%	294	70	791	45%	108	54
宇城	205	4%	190	42	115	3%	107	41	90	5%	84	46
有明	331	6%	204	44	164	5%	101	40	168	10%	103	52
鹿本	118	2%	223	46	72	2%	137	46	46	3%	86	47
菊池	333	6%	188	42	194	6%	109	42	139	8%	78	44
阿蘇	123	2%	189	42	62	2%	95	40	61	4%	94	49
上益城	140	3%	166	39	83	2%	98	40	57	3%	68	41
八代	343	7%	248	49	211	6%	152	48	132	8%	96	50
芦北	165	3%	348	60	111	3%	234	61	54	3%	114	56
球磨	214	4%	241	48	127	4%	143	47	87	5%	97	50
天草	287	6%	245	48	173	5%	147	48	115	7%	98	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

43. 熊本県

資_図表 43-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
熊本県	24,862	2.3%	1,400	69	19,126	2.2%	1,077	66	5,736	3.2%	323	74
熊本	12,087	49%	1,648	78	9,763	51%	1,331	76	2,324	41%	317	73
宇城	1,248	5%	1,161	61	857	4%	797	54	391	7%	364	80
有明	1,737	7%	1,069	58	1,197	6%	736	51	541	9%	333	76
鹿本	651	3%	1,234	64	462	2%	875	57	190	3%	360	79
菊池	2,093	8%	1,179	62	1,649	9%	929	59	444	8%	250	65
阿蘇	496	2%	762	47	387	2%	594	46	109	2%	168	53
上益城	773	3%	914	52	563	3%	665	48	210	4%	248	64
八代	1,825	7%	1,319	67	1,295	7%	936	60	530	9%	383	82
芦北	970	4%	2,041	92	720	4%	1,515	84	250	4%	526	102
球磨	1,132	5%	1,273	65	867	5%	975	61	265	5%	298	71
天草	1,850	7%	1,578	76	1,368	7%	1,167	69	482	8%	411	86
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 43-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
熊本県	2,683	2.4%	151	63	3,421	1.2%	193	47
熊本	1,477	55%	201	73	1,881	55%	256	54
宇城	159	6%	148	62	187	5%	174	45
有明	151	6%	93	51	193	6%	119	39
鹿本	63	2%	118	56	57	2%	108	38
菊池	331	12%	186	70	238	7%	134	41
阿蘇	60	2%	92	51	76	2%	117	39
上益城	110	4%	129	58	122	4%	144	42
八代	89	3%	64	45	224	7%	162	44
芦北	60	2%	125	58	103	3%	217	50
球磨	90	3%	101	53	164	5%	184	46
天草	97	4%	83	49	176	5%	150	42
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 43-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養 支援診療 所	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	在宅療養 支援病院	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
熊本県	218	1.5%	0.8	48	33	3.2%	0.1	60
熊本	88	40%	1.0	52	17	52%	0.2	71
宇城	11	5%	0.6	44	0	0%	0	39
有明	26	12%	0.9	51	2	6%	0.1	51
鹿本	9	4%	0.9	50	2	6%	0.2	72
菊池	12	6%	0.5	43	1	3%	0.0	47
阿蘇	8	4%	0.6	44	1	3%	0.1	52
上益城	3	1%	0.2	35	2	6%	0.1	62
八代	22	10%	0.9	51	0	0%	0	39
芦北	8	4%	0.8	48	2	6%	0.2	72
球磨	8	4%	0.4	41	4	12%	0.2	77
天草	23	11%	0.9	51	2	6%	0.1	53
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 43-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者 施設・住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
熊本県	26,241	1.7%	95	50	18,972	2.0%	69	58	7,269	1.2%	26	43
熊本	9,172	35%	101	54	5,285	28%	58	50	3,887	53%	43	54
宇城	1,766	7%	95	50	1,338	7%	72	60	428	6%	23	40
有明	2,505	10%	88	45	1,949	10%	68	57	556	8%	19	38
鹿本	843	3%	80	41	694	4%	66	56	149	2%	14	34
菊池	1,965	7%	90	46	1,479	8%	68	57	486	7%	22	40
阿蘇	1,350	5%	102	54	1,042	5%	79	66	308	4%	23	41
上益城	1,516	6%	99	52	1,265	7%	83	69	251	3%	16	36
八代	2,037	8%	84	43	1,650	9%	68	57	387	5%	16	35
芦北	1,021	4%	98	52	816	4%	78	65	205	3%	20	38
球磨	1,794	7%	101	53	1,475	8%	83	69	319	4%	18	37
天草	2,272	9%	90	47	1,979	10%	78	65	293	4%	12	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅 定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老 人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数 の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループ ホーム、サ高住の合計			

43. 熊本県

資_図表 43-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
熊本県	6,669	1.9%	24	54	9,924	1.8%	36	53	2,379	3.4%	8.6	60
熊本	2,168	33%	24	54	2,117	21%	23	41	1,000	42%	11.0	66
宇城	378	6%	20	48	867	9%	47	64	93	4%	5.0	52
有明	683	10%	24	54	975	10%	34	51	291	12%	10.2	64
鹿本	256	4%	24	55	438	4%	42	59	0	0%	0	40
菊池	526	8%	24	54	718	7%	33	50	235	10%	10.7	65
阿蘇	305	5%	23	52	673	7%	51	68	64	3%	4.8	51
上益城	344	5%	22	51	816	8%	53	70	105	4%	6.9	56
八代	636	10%	26	58	855	9%	35	52	159	7%	6.5	55
芦北	250	4%	24	54	445	4%	43	60	121	5%	11.6	68
球磨	451	7%	25	56	861	9%	48	65	163	7%	9.2	62
天草	672	10%	27	58	1,159	12%	46	63	148	6%	5.9	54
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
熊本県	1,170	0.6%	4.2	42	50	0.2%	0.2	44	2,962	1.6%	10.7	49
熊本	965	82%	10.7	48	0	0%	0	43	743	25%	8.2	44
宇城	26	2%	1.4	39	0	0%	0	43	261	9%	14.1	55
有明	0	0%	0	37	50	100%	1.8	53	387	13%	13.6	54
鹿本	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	3%	9.4	47
菊池	130	11%	5.9	43	0	0%	0	43	234	8%	10.7	49
阿蘇	29	2%	2.2	40	0	0%	0	43	216	7%	16.3	59
上益城	0	0%	0	37	0	0%	0	43	153	5%	10.0	48
八代	20	2%	0.8	38	0	0%	0	43	221	7%	9.1	46
芦北	0	0%	0	37	0	0%	0	43	180	6%	17.3	61
球磨	0	0%	0	37	0	0%	0	43	198	7%	11.1	50
天草	0	0%	0	37	0	0%	0	43	270	9%	10.7	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
熊本県	3,087	1.6%	11.2	49	448	4.8%	1.6	59	2,639	1.5%	9.5	48
熊本	2,179	71%	24.1	70	410	92%	4.5	82	1,769	67%	19.5	65
宇城	141	5%	7.6	44	0	0%	0	45	141	5%	7.6	44
有明	119	4%	4.2	38	0	0%	0	45	119	5%	4.2	38
鹿本	50	2%	4.8	39	0	0%	0	45	50	2%	4.8	39
菊池	122	4%	5.6	40	0	0%	0	45	122	5%	5.6	41
阿蘇	63	2%	4.8	39	0	0%	0	45	63	2%	4.8	39
上益城	98	3%	6.4	42	0	0%	0	45	98	4%	6.4	42
八代	146	5%	6.0	41	0	0%	0	45	146	6%	6.0	42
芦北	25	1%	2.4	35	0	0%	0	45	25	1%	2.4	35
球磨	121	4%	6.8	42	38	8%	2.1	63	83	3%	4.7	39
天草	23	1%	0.9	33	0	0%	0	45	23	1%	0.9	33
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
熊本県	3,831	2.5%	13.9	68	3,094	2.7%	11.2	68	738	2.0%	2.7	55
熊本	1,380	36%	15.2	73	1,102	36%	12.2	72	279	38%	3.1	60
宇城	226	6%	12.2	62	169	5%	9.1	59	57	8%	3.1	60
有明	358	9%	12.5	63	291	9%	10.2	64	67	9%	2.3	51
鹿本	90	2%	8.6	47	76	2%	7.3	51	14	2%	1.3	38
菊池	363	9%	16.5	79	306	10%	14.0	80	56	8%	2.6	54
阿蘇	181	5%	13.6	67	141	5%	10.6	66	40	5%	3.0	59
上益城	223	6%	14.6	71	181	6%	11.8	71	42	6%	2.8	56
八代	276	7%	11.3	58	193	6%	7.9	54	82	11%	3.4	64
芦北	179	5%	17.2	81	146	5%	14.1	81	32	4%	3.1	60
球磨	265	7%	14.9	72	222	7%	12.5	74	44	6%	2.5	52
天草	291	8%	11.5	59	267	9%	10.6	65	24	3%	1.0	34
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

43. 熊本県

資_図表 43-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
熊本県	25,291	1.7%	92	52	21,507	1.7%	78	52	3,784	1.7%	13.7	51
熊本	8,435	33%	93	53	6,834	32%	75	50	1,601	42%	17.7	58
宇城	1,859	7%	100	58	1,575	7%	85	57	284	8%	15.3	54
有明	2,468	10%	86	49	2,072	10%	73	48	396	10%	13.9	51
鹿本	871	3%	83	47	781	4%	74	50	90	2%	8.6	41
菊池	1,991	8%	91	52	1,730	8%	79	53	262	7%	11.9	48
阿蘇	1,249	5%	94	54	1,150	5%	87	58	99	3%	7.5	39
上益城	1,509	6%	99	57	1,374	6%	90	60	134	4%	8.8	42
八代	2,071	8%	85	48	1,614	8%	66	44	456	12%	18.7	60
芦北	934	4%	90	51	845	4%	81	54	89	2%	8.5	41
球磨	1,689	7%	95	54	1,514	7%	85	57	175	5%	9.8	44
天草	2,216	9%	88	50	2,017	9%	80	53	199	5%	7.9	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
熊本県	6,794	0.9%	25	42	4,721	1.4%	17	46	23,842	1.7%	86	50
熊本	3,168	47%	35	46	2,092	44%	23	52	11,041	46%	122	62
宇城	447	7%	24	42	346	7%	19	47	1,578	7%	85	50
有明	854	13%	30	44	515	11%	18	47	2,524	11%	88	51
鹿本	165	2%	16	38	65	1%	6	34	610	3%	58	41
菊池	242	4%	11	36	392	8%	18	46	1,512	6%	69	44
阿蘇	476	7%	36	46	166	4%	13	41	520	2%	39	34
上益城	52	1%	3	33	250	5%	16	45	809	3%	53	39
八代	504	7%	21	40	329	7%	14	42	2,134	9%	88	50
芦北	221	3%	21	40	182	4%	18	46	598	3%	58	40
球磨	137	2%	8	35	242	5%	14	42	1,100	5%	62	42
天草	528	8%	21	40	142	3%	6	33	1,416	6%	56	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 43-21 公的病院病床数、民間病院病床数

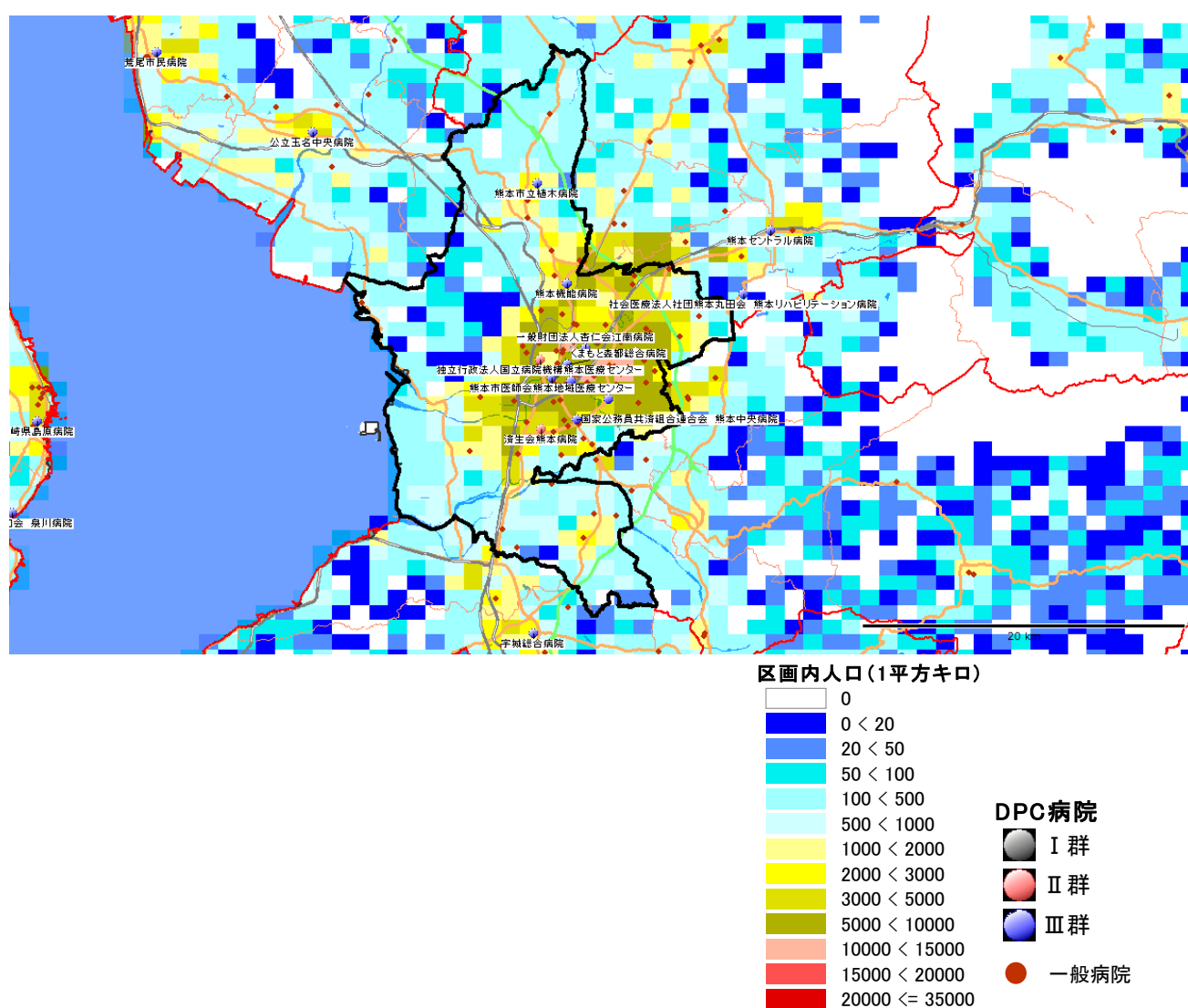
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
熊本県	9,853	8,826	397	25,315	7,978	8,826	52.5%	50	4.3%	48
熊本	3,826	3,410	104	11,706	5,196	3,532	39.6%	45	2.9%	47
宇城	444	395	0	1,459	331	477	54.4%	51	0.0%	46
有明	674	632	42	1,847	150	721	80.8%	62	5.5%	48
鹿本	201	197	0	639	178	221	52.5%	50	0.0%	46
菊池	1,601	1,434	0	2,095	895	468	61.6%	54	0.0%	46
阿蘇	199	195	0	772	118	384	62.3%	54	0.0%	46
上益城	57	57	0	1,207	244	576	18.9%	36	0.0%	46
八代	850	816	0	1,584	237	561	77.5%	60	0.0%	46
芦北	671	667	0	887	112	395	85.6%	64	0.0%	46
球磨	451	447	0	1,118	169	545	72.6%	58	0.0%	46
天草	879	576	251	2,001	348	946	62.3%	54	21.0%	55
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

43. 熊本県

くまもと 43-1. 熊本医療圏

構成市区町村¹ [中央区](#), [東区](#), [西区](#), [南区](#), [北区](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 熊本医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(熊本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 熊本(熊本市)は、総人口約 734 千人(2015 年推計)、面積 390 km²、人口密度は 1883 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 熊本の総人口は 2025 年に 715 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 659 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 91 千人が、2025 年にかけて 117 千人へと増加し(2015 年比+29%)、2040 年には 134 千人へと増加する(2025 年比+15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 熊本の一人当たり医療費(国保)は 322 千円(偏差値 53)、介護給付費は 275 千円(偏差値 57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 熊本の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.57、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.24 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 66(病院医師数 70、診療所医師数 54)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 78 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 70 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 73 と非常に多い。熊本には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の熊本赤十字病院(Ⅱ群・救命)、済生会熊本病院(Ⅱ群・救命)、熊本市市民病院、熊本大学医学部附属病院(Ⅰ群)、熊本医療センター(Ⅱ群・救命)、1000 例以上の熊本中央病院、熊本整形外科病院、熊本機能病院、500 例以上の熊本市医師会熊本地域医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 73 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 70 と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 58 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 熊本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9172 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 5285 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 3887 床(偏差値 54)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6834 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住70である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値71と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、1601人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

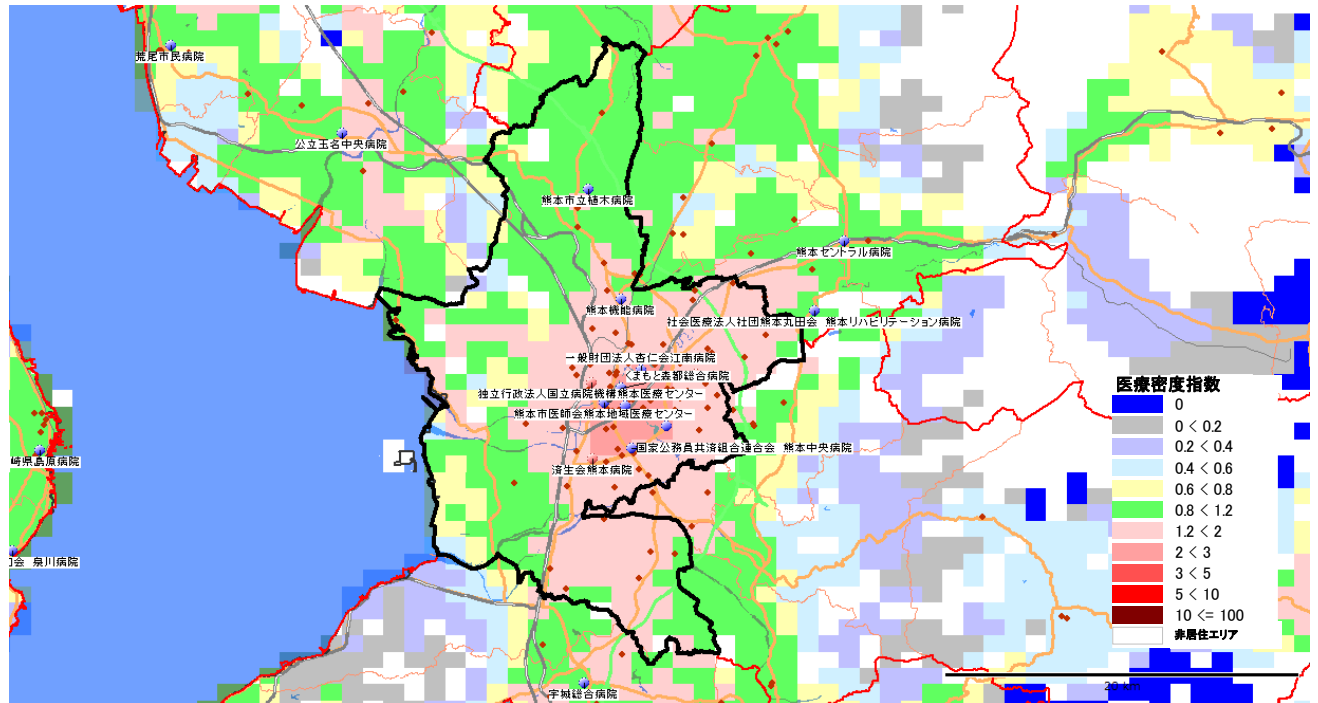
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-53%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推估)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

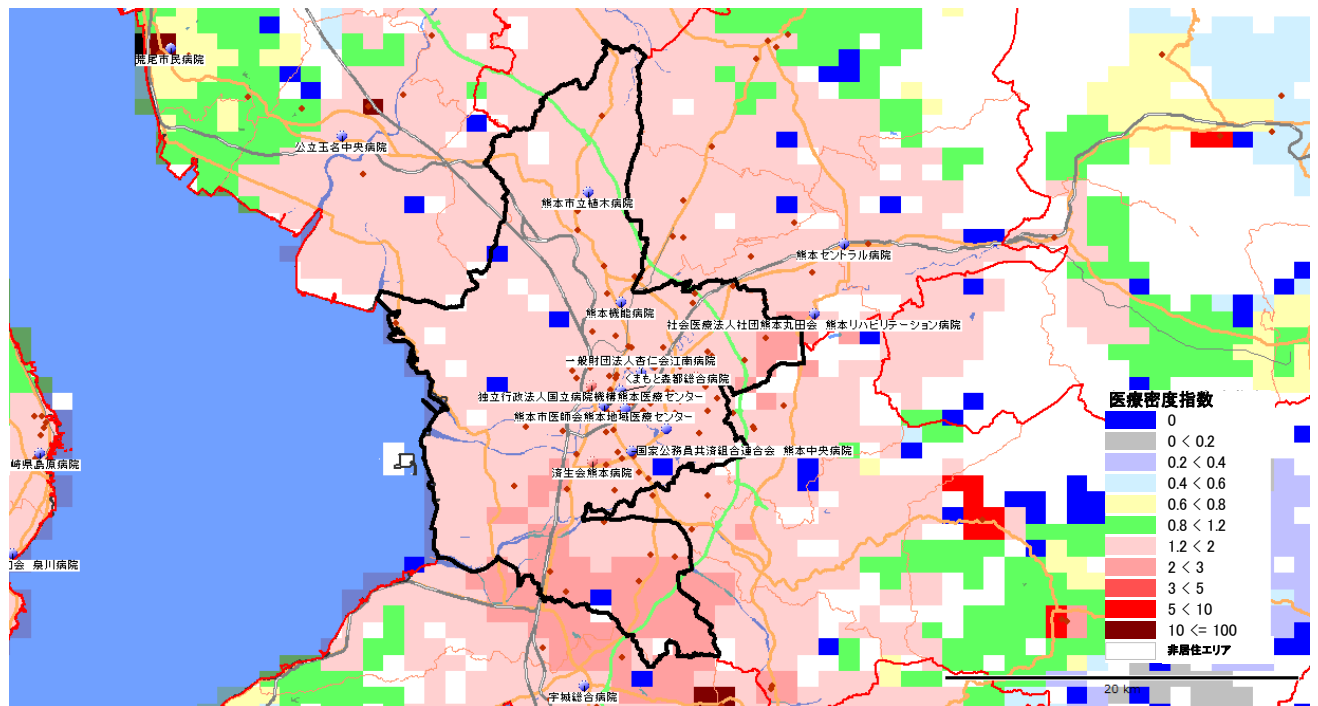
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-1-2 慢性期医療密度指数マップ

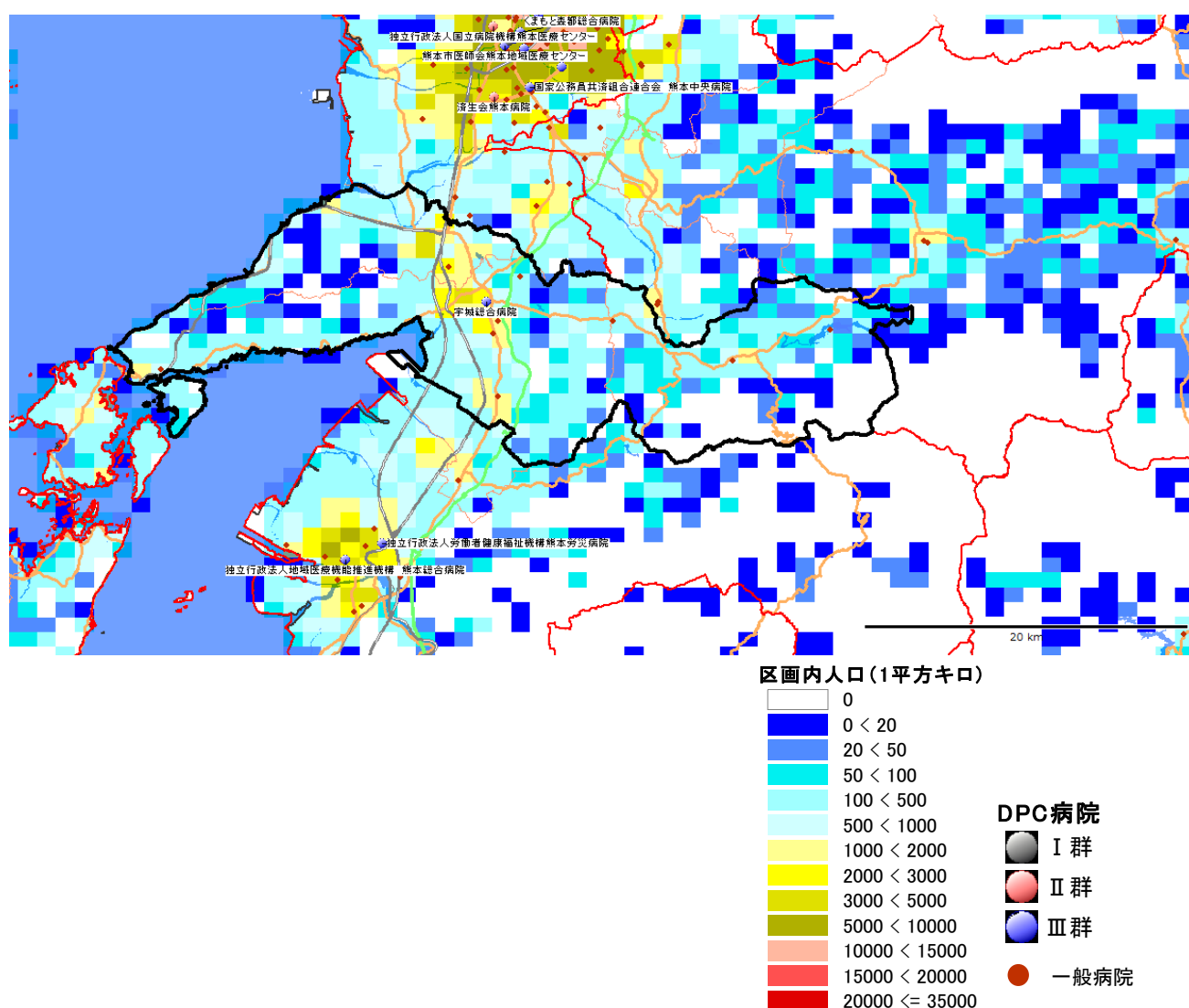


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-2. う き 宇城医療圏

構成市区町村¹ [宇土市](#), [宇城市](#), [美里町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 宇城医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(宇城医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇城(宇土市)は、総人口約 108 千人(2015 年推計)、面積 407 km²、人口密度は 264 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇城の総人口は 2025 年に 99 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 85 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 19 千人が、2025 年にかけて 21 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 22 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇城の一人当たり医療費(国保)は 329 千円(偏差値 55)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇城の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.99 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 41、診療所医師数 46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 48 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。宇城には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 62 と多く、回復期病床数は偏差値 57 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 65 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 43 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1766 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1338 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 428 床(偏差値 40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1575 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 48、特別養護老人ホーム 64、介護療養型医療施設 52、有料老人ホーム 39、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 55、サ高住 44 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、284人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

【医療と介護の需要予測】

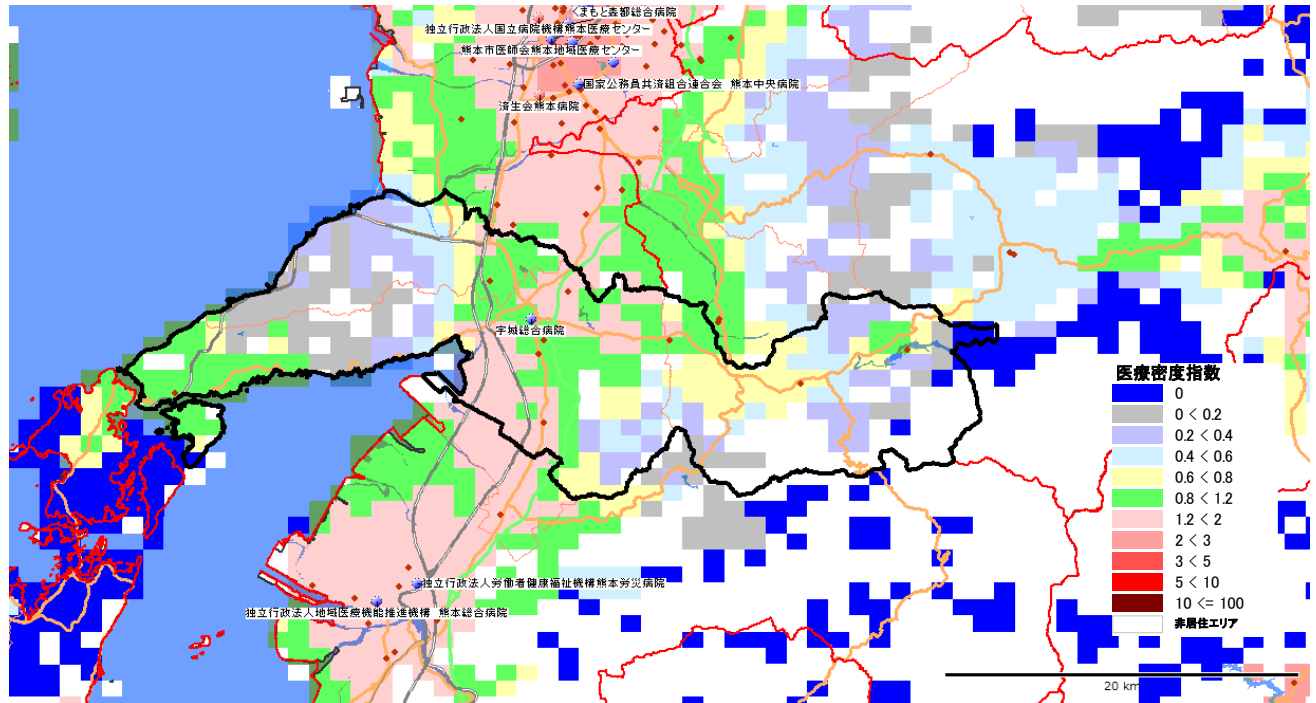
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

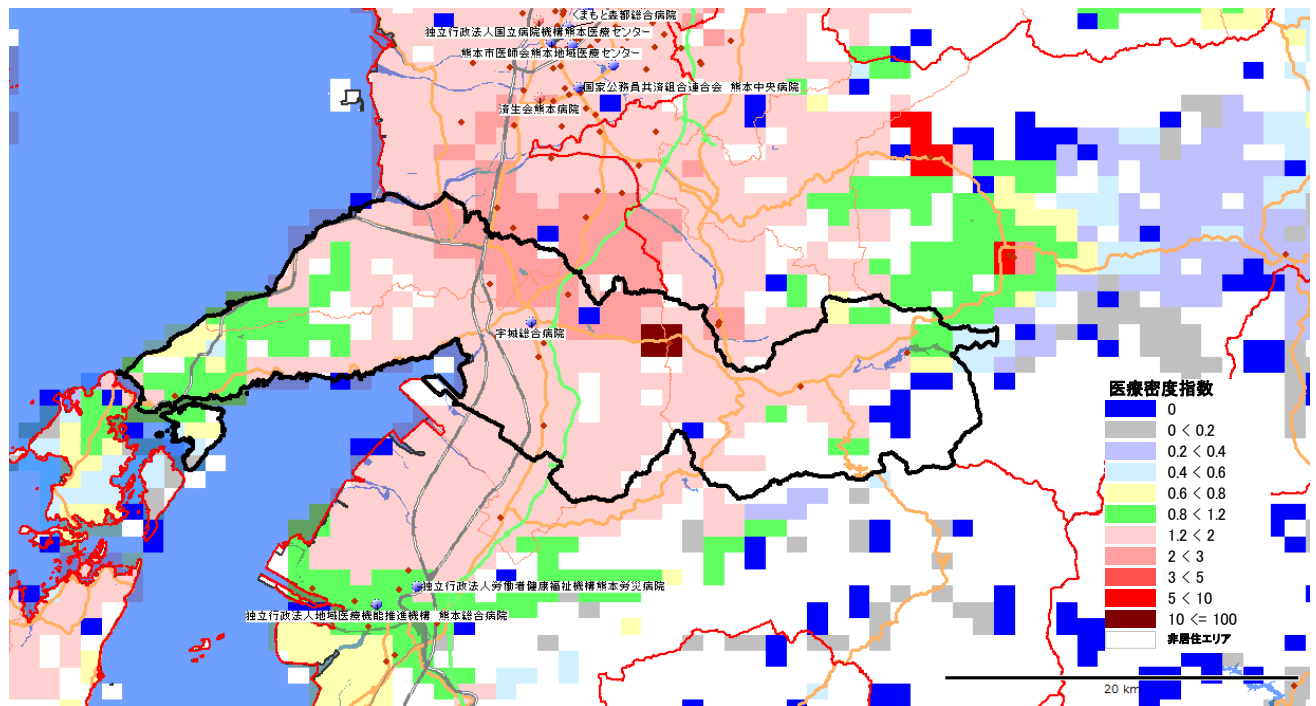
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-2-2 慢性期医療密度指数マップ

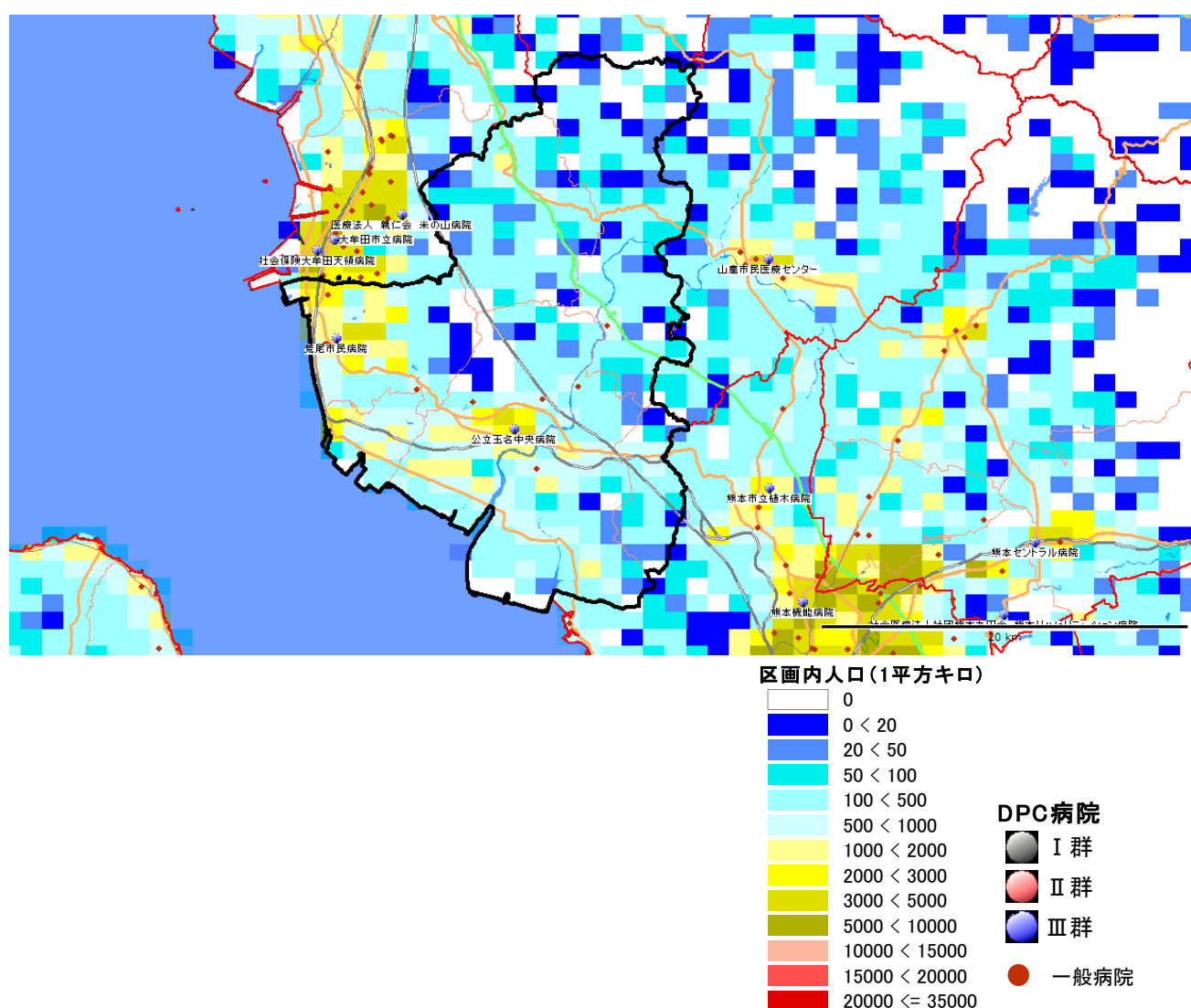


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

ありあけ 43-3. 有明医療圏

構成市区町村¹ [荒尾市](#),[玉名市](#),[玉東町](#),[南関町](#),[長洲町](#),[和水町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 有明医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 有明(荒尾市)は、総人口約 162 千人(2015 年推計)、面積 421 km²、人口密度は 386 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 有明の総人口は 2025 年に 148 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 125 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 29 千人が、2025 年にかけて 32 千人へと増加し(2015 年比+10%)、2040 年には 31 千人へと減少する(2025 年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は 368 千円(偏差値 64)、介護給付費は 299 千円(偏差値 63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 有明の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.19 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 40、診療所医師数 52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 58 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。有明には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の公立玉名中央病院、荒尾市民病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 57 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 65 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2505 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1949 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 556 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2072 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 64、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 53、グループホーム 54、サ高住 38 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 51 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、396 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

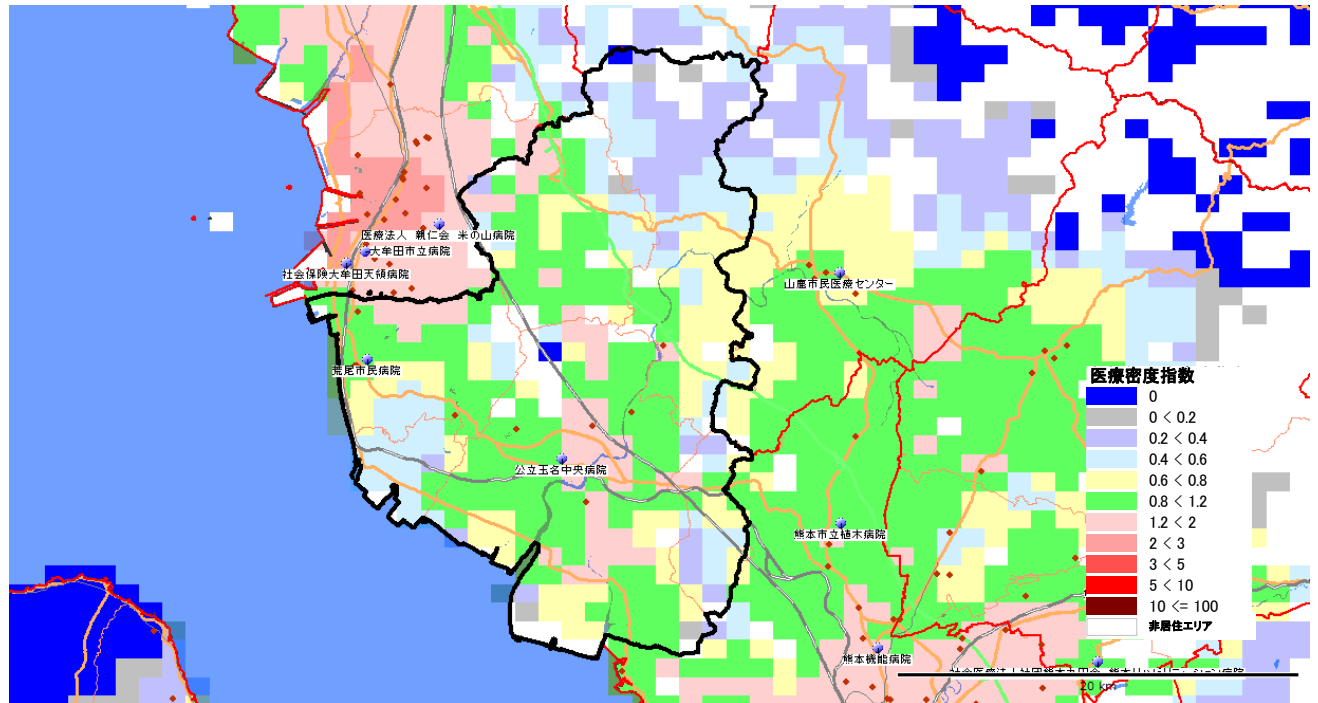
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-8%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

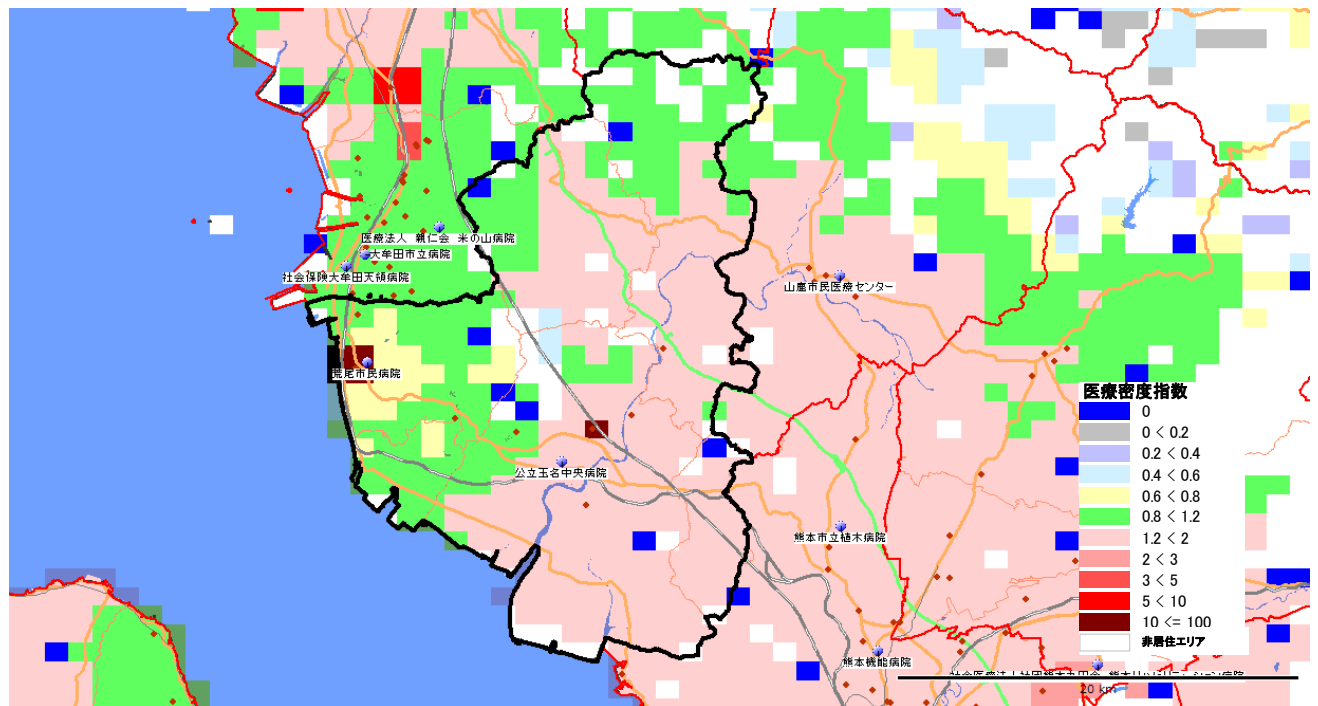
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-3-1 急性期医療密度指数マップ

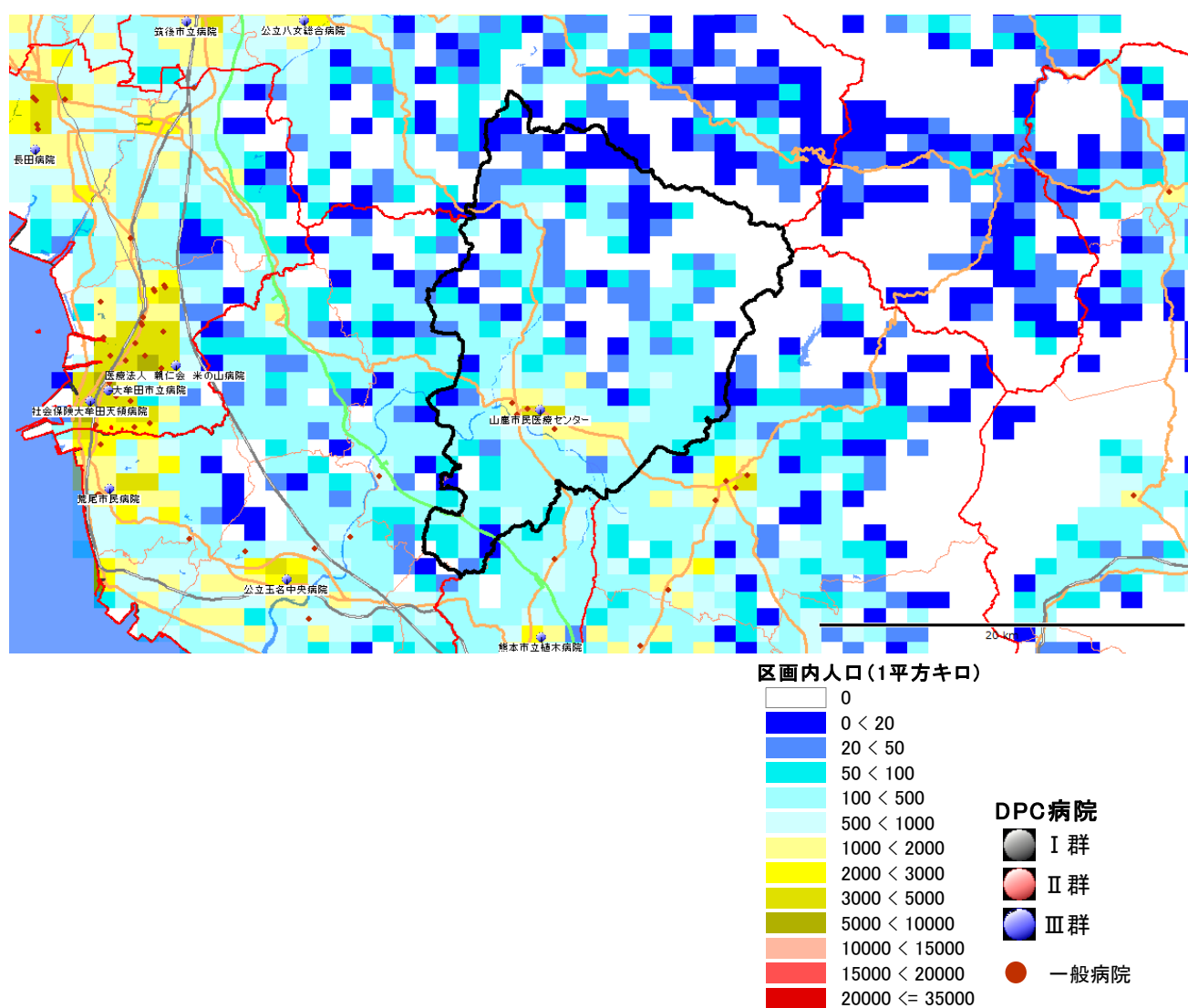


図表 43-3-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-4. かもと 鹿本医療圏

構成市区村¹ 山鹿市人口分布² (1 km²区画単位)

¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 鹿本医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(鹿本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 鹿本(山鹿市)は、総人口約 53 千人(2015 年推計)、面積 300 km²、人口密度は 176 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 鹿本の総人口は 2025 年に 47 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 39 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 10 千人が、2025 年にかけて 11 千人へと増加し(2015 年比+10%)、2040 年には 11 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 鹿本の一人当たり医療費(国保)は 343 千円(偏差値 58)、介護給付費は 287 千円(偏差値 60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 鹿本の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.09 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 46、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 64 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。鹿本には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の山鹿市民医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 57 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 56 と多く、回復期病床数は偏差値 68 と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 59 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 鹿本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、843 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 694 床(偏差値 56)、高齢者住宅等が 149 床(偏差値 34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、781 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 55、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 47、サ高住 39 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 50 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 72 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、90 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

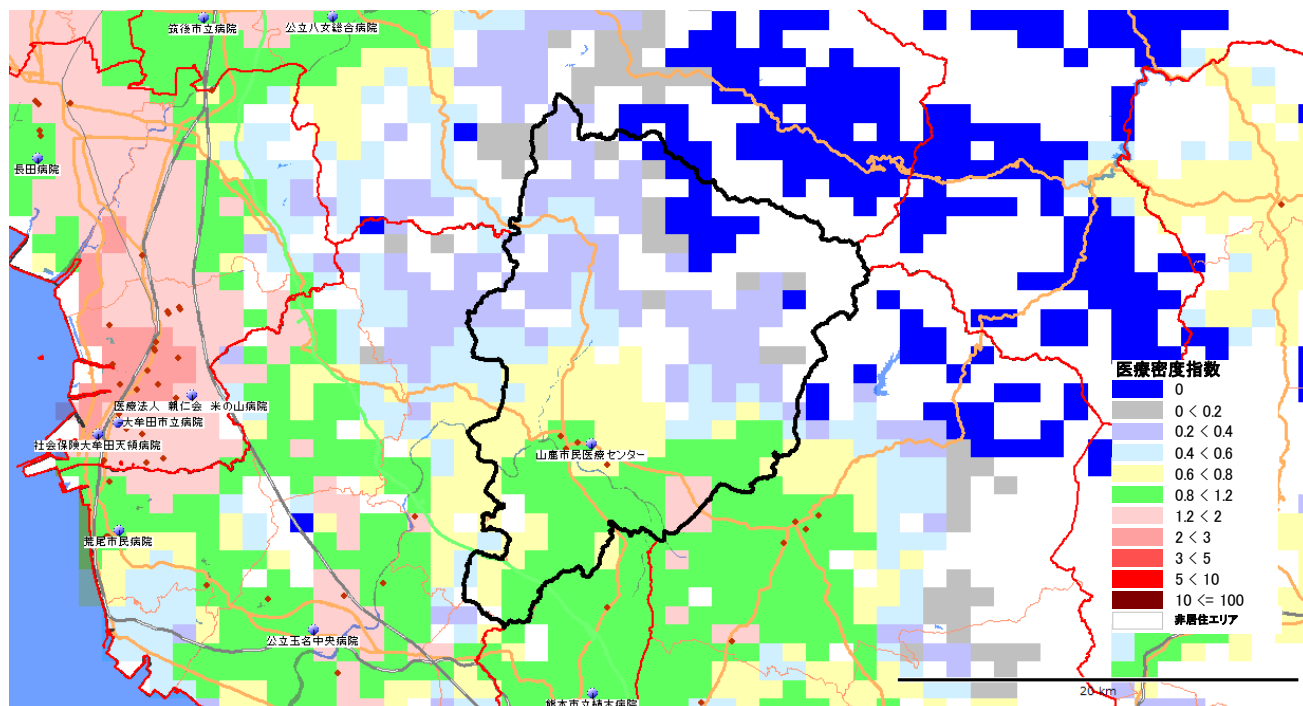
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－12%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－14%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

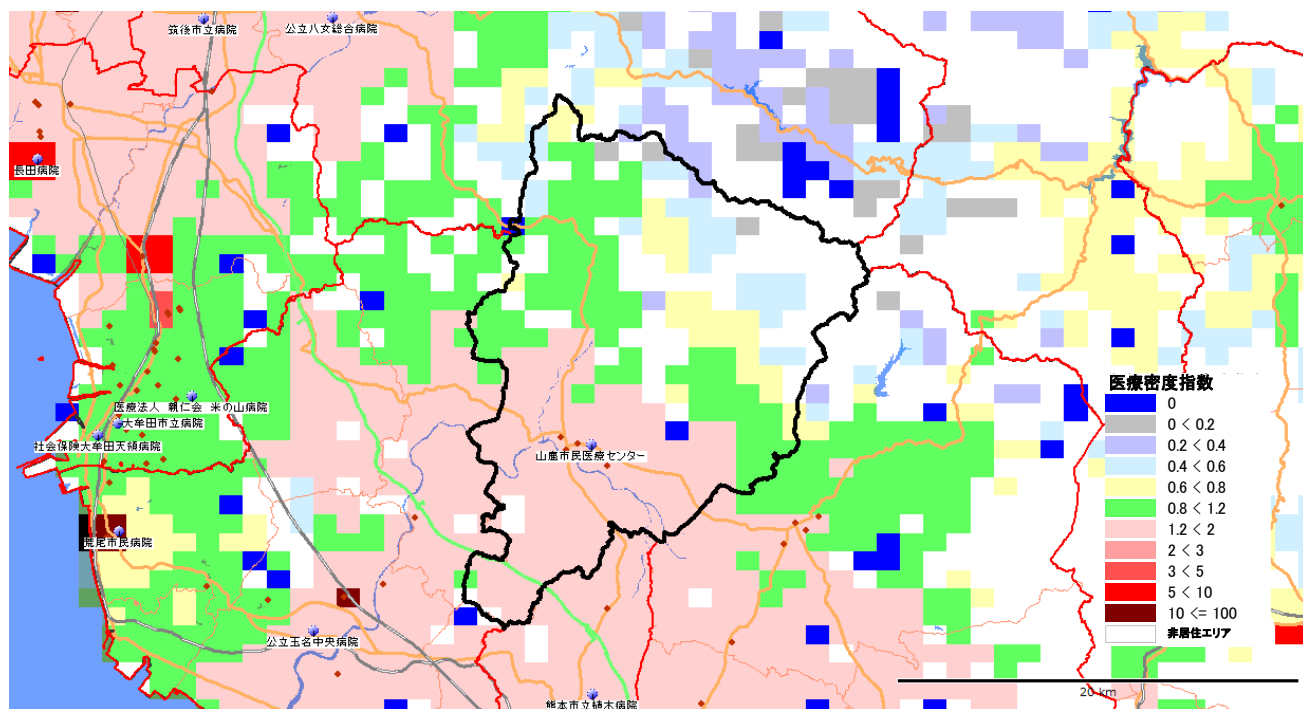
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-4-2 慢性期医療密度指数マップ

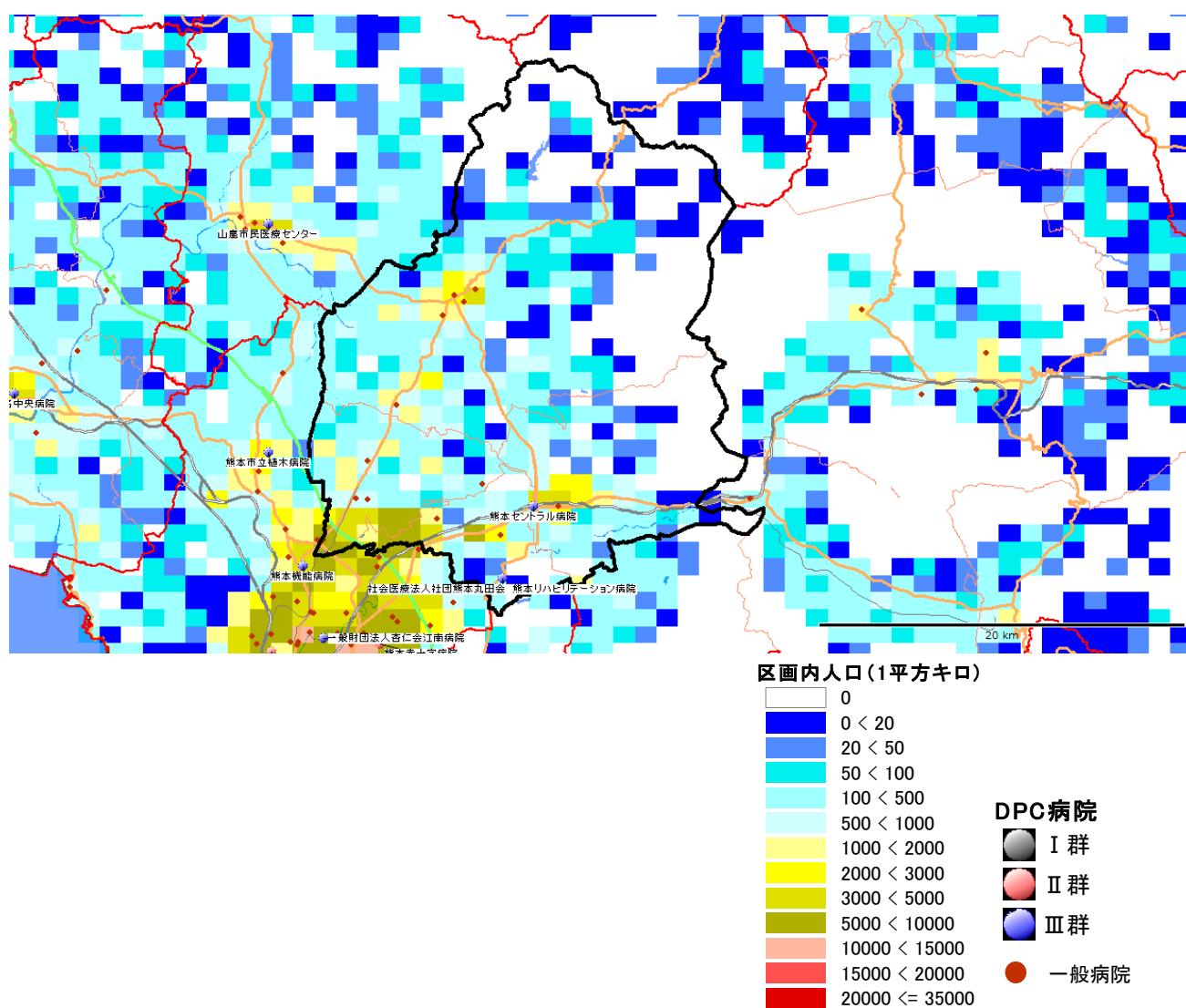


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-5. きくち 菊池医療圏

構成市区町村¹ 菊池市, 合志市, 大津町, 菊陽町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 菊池医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(菊池医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 菊池(菊池市)は、総人口約 177 千人(2015 年推計)、面積 466 km²、人口密度は 380 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 菊池の総人口は 2025 年に 179 千人へと増加し(2015 年比+1%)、2040 年に 175 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 22 千人が、2025 年にかけて 28 千人へと増加し(2015 年比+27%)、2040 年には 32 千人へと増加する(2025 年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 菊池の一人当たり医療費(国保)は 327 千円(偏差値 54)、介護給付費は 276 千円(偏差値 57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 菊池の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.77 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 42、診療所医師数 44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 62 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 76 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。菊池には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 70 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 46 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 菊池の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1965 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1479 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 486 床(偏差値 40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1730 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 65、有料老人ホーム 43、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 49、サ高住 40 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 43 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 47 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

やや少ない。介護職員（在宅）の合計は、262人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

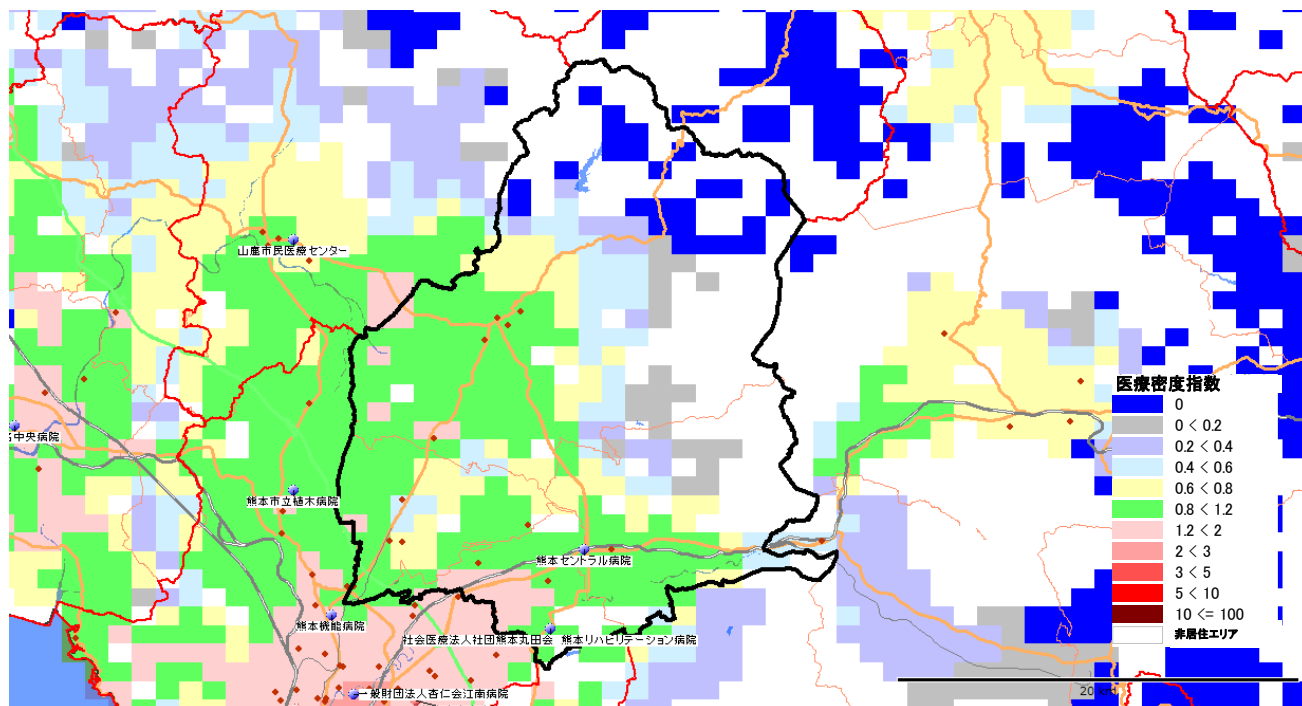
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-49%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

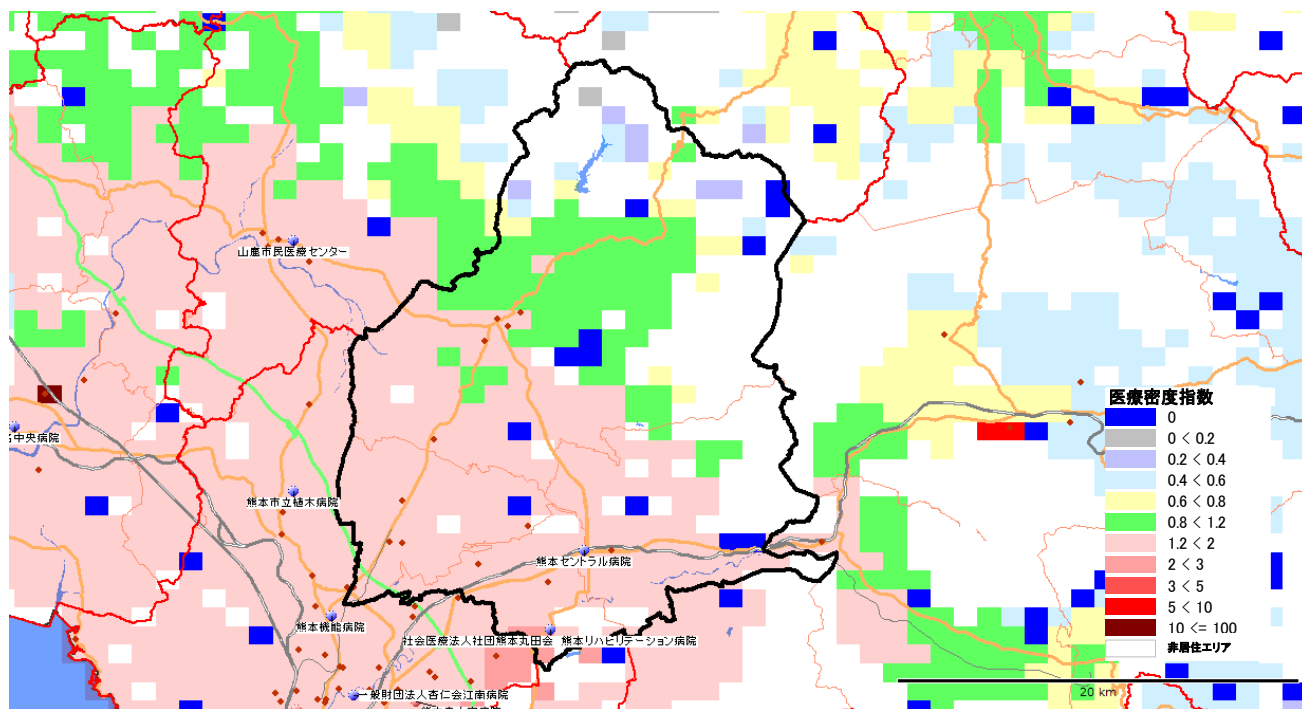
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-5-2 慢性期医療密度指数マップ

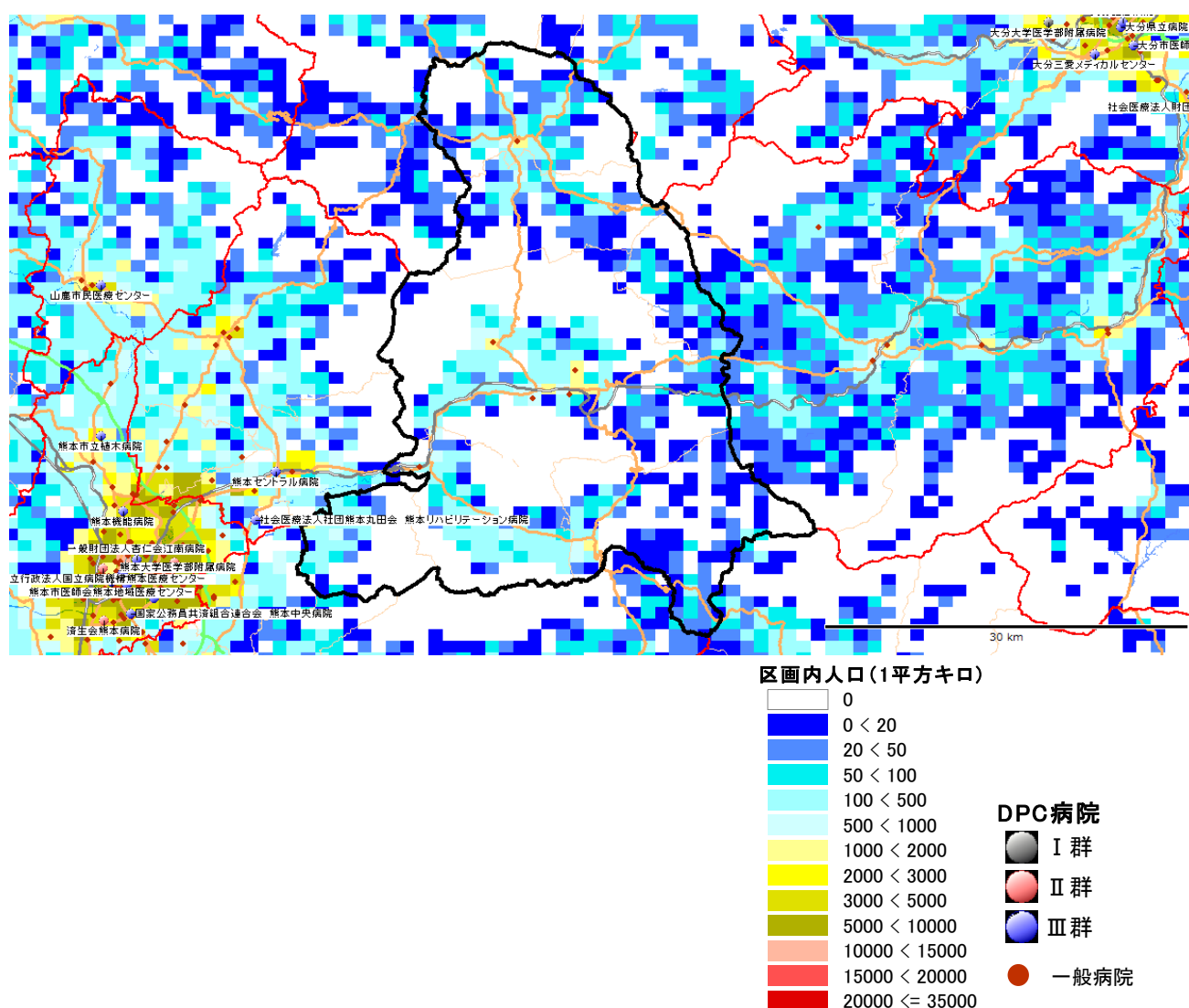


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

あそ 43-6. 阿蘇医療圏

構成市区町村¹ [阿蘇市](#), [南小国町](#), [小国町](#), [産山村](#), [高森町](#), [西原村](#), [南阿蘇村](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 阿蘇医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(阿蘇医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 阿蘇(阿蘇市)は、総人口約 65 千人(2015 年推計)、面積 1079 km²、人口密度は 60 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 阿蘇の総人口は 2025 年に 59 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 49 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 14 千人へと増加し(2015 年比+8%)、2040 年には 14 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 阿蘇の一人当たり医療費(国保)は 305 千円(偏差値 49)、介護給付費は 283 千円(偏差値 59)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 阿蘇の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.48、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.52 で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 40、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 29 と非常に少ない。阿蘇には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 66 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 阿蘇の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1350 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1042 床(偏差値 66)、高齢者住宅等が 308 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1150 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 68、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 40、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 59、サ高住 39 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 52 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、99人（75歳以上1000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

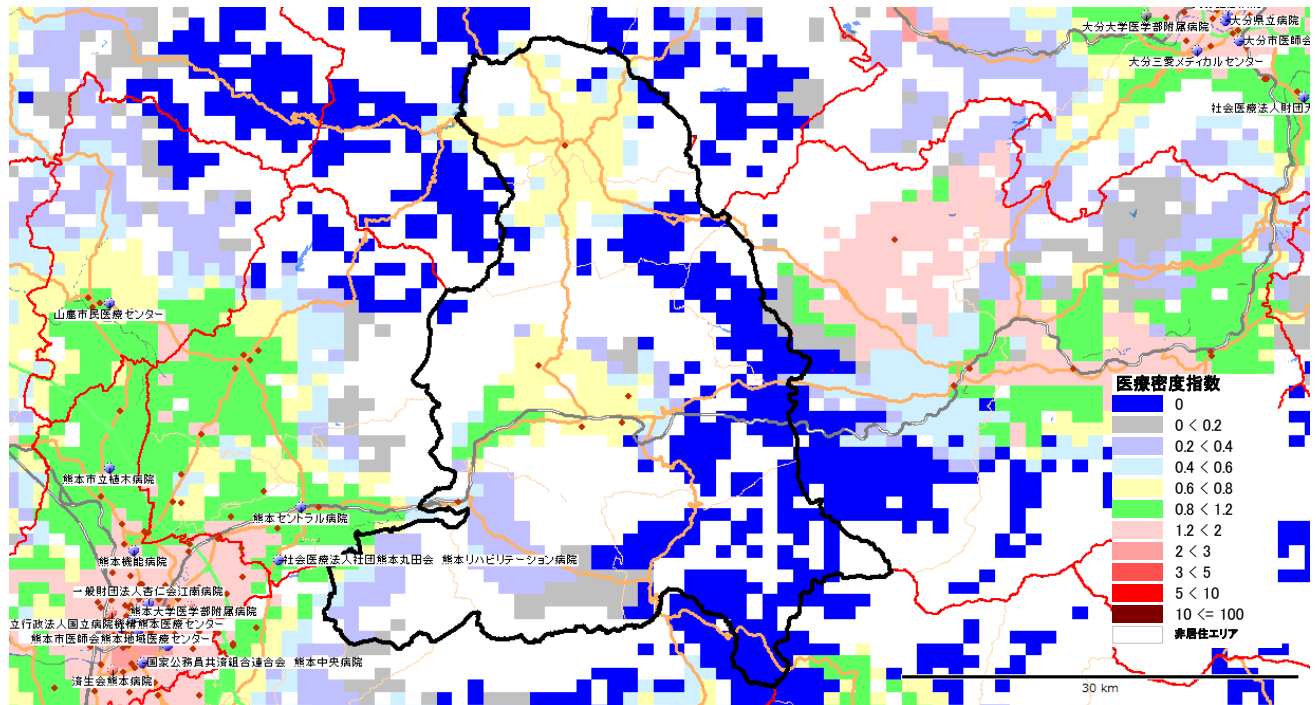
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+15%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

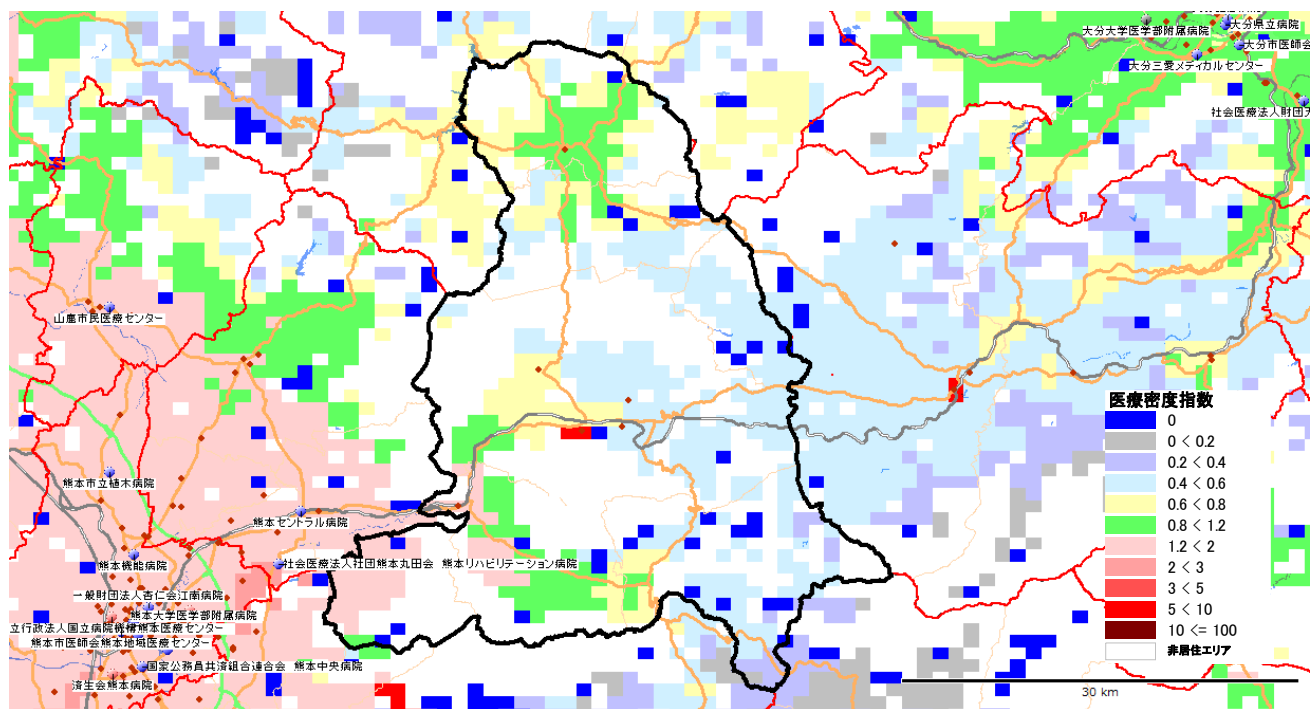
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-6-2 慢性期医療密度指数マップ

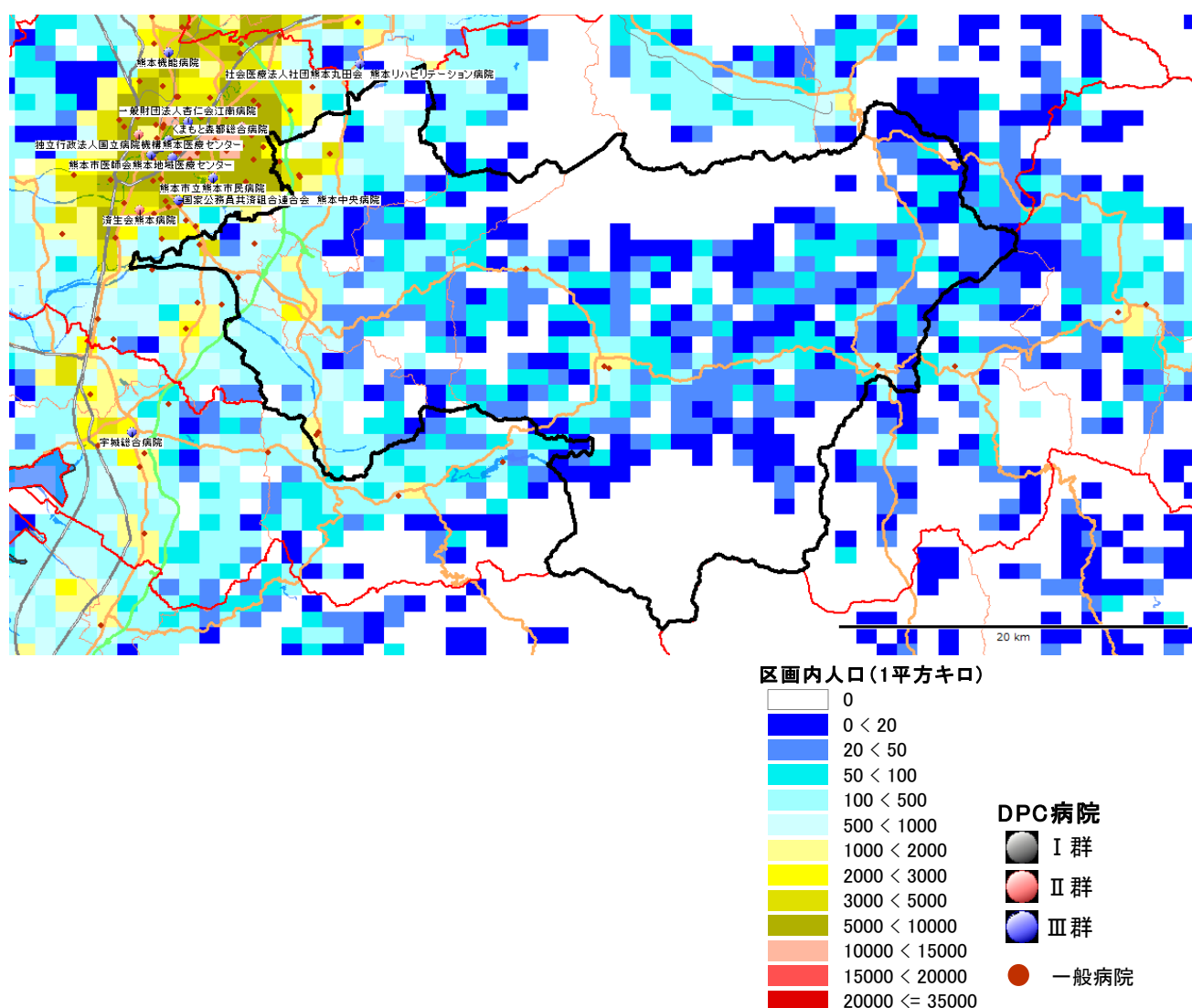


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

かみましき 43-7. 上益城医療圏

構成市区町村¹ [御船町](#), [嘉島町](#), [益城町](#), [甲佐町](#), [山都町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 上益城医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(上益城医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 上益城(御船町)は、総人口約 85 千人(2015 年推計)、面積 784 km²、人口密度は 108 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 上益城の総人口は 2025 年に 78 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 67 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 17 千人へと増加し(2015 年比+13%)、2040 年には 17 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 上益城の一人当たり医療費(国保)は 340 千円(偏差値 57)、介護給付費は 278 千円(偏差値 57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 上益城の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.83 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 39(病院医師数 40、診療所医師数 41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 35 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 29 と非常に少ない。上益城には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 70 と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 59 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 上益城の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1516 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1265 床(偏差値 69)、高齢者住宅等が 251 床(偏差値 36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1374 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 70、介護療養型医療施設 56、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 48、サ高住 42 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 35 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 62 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

多い。介護職員（在宅）の合計は、134人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

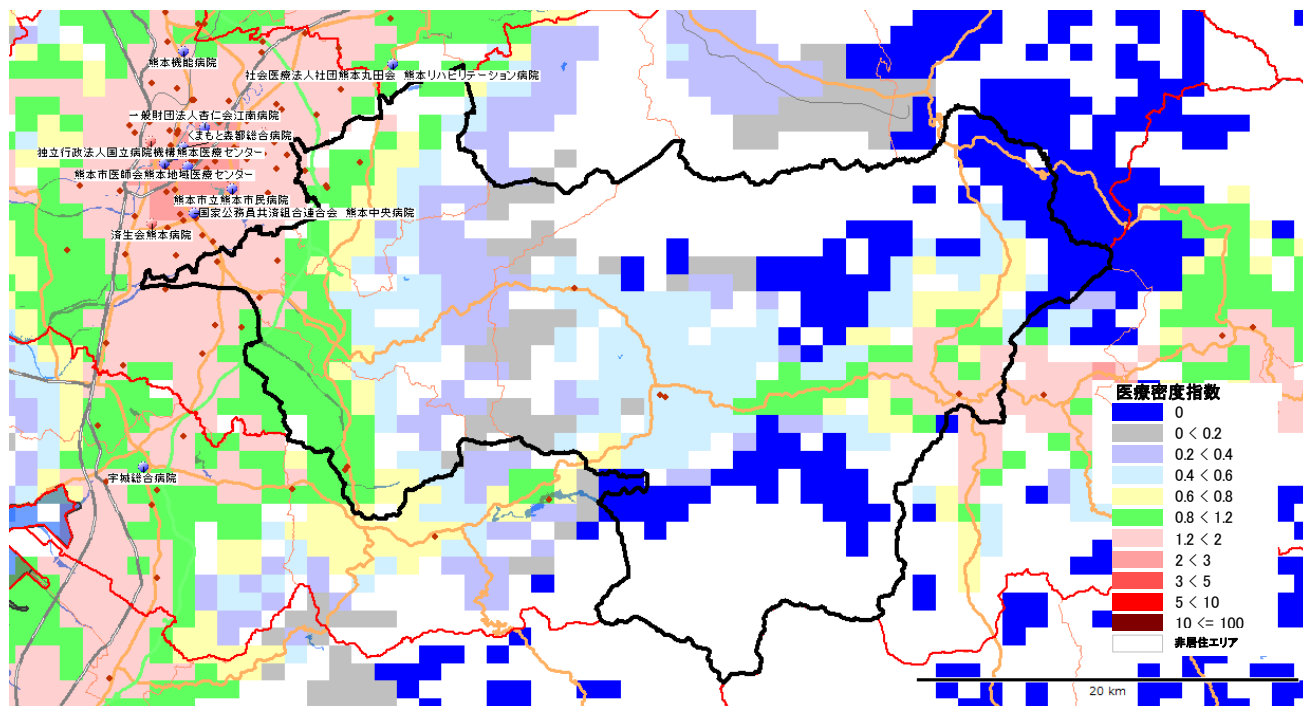
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

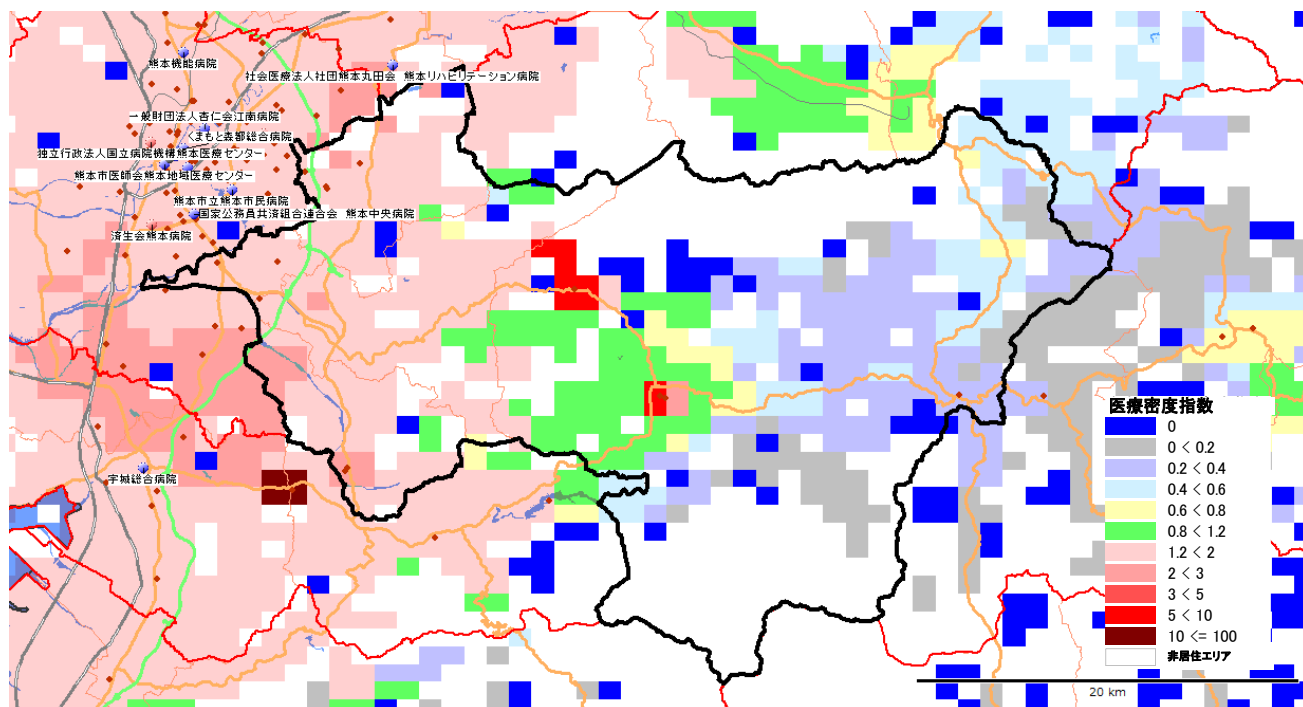
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-7-2 慢性期医療密度指数マップ

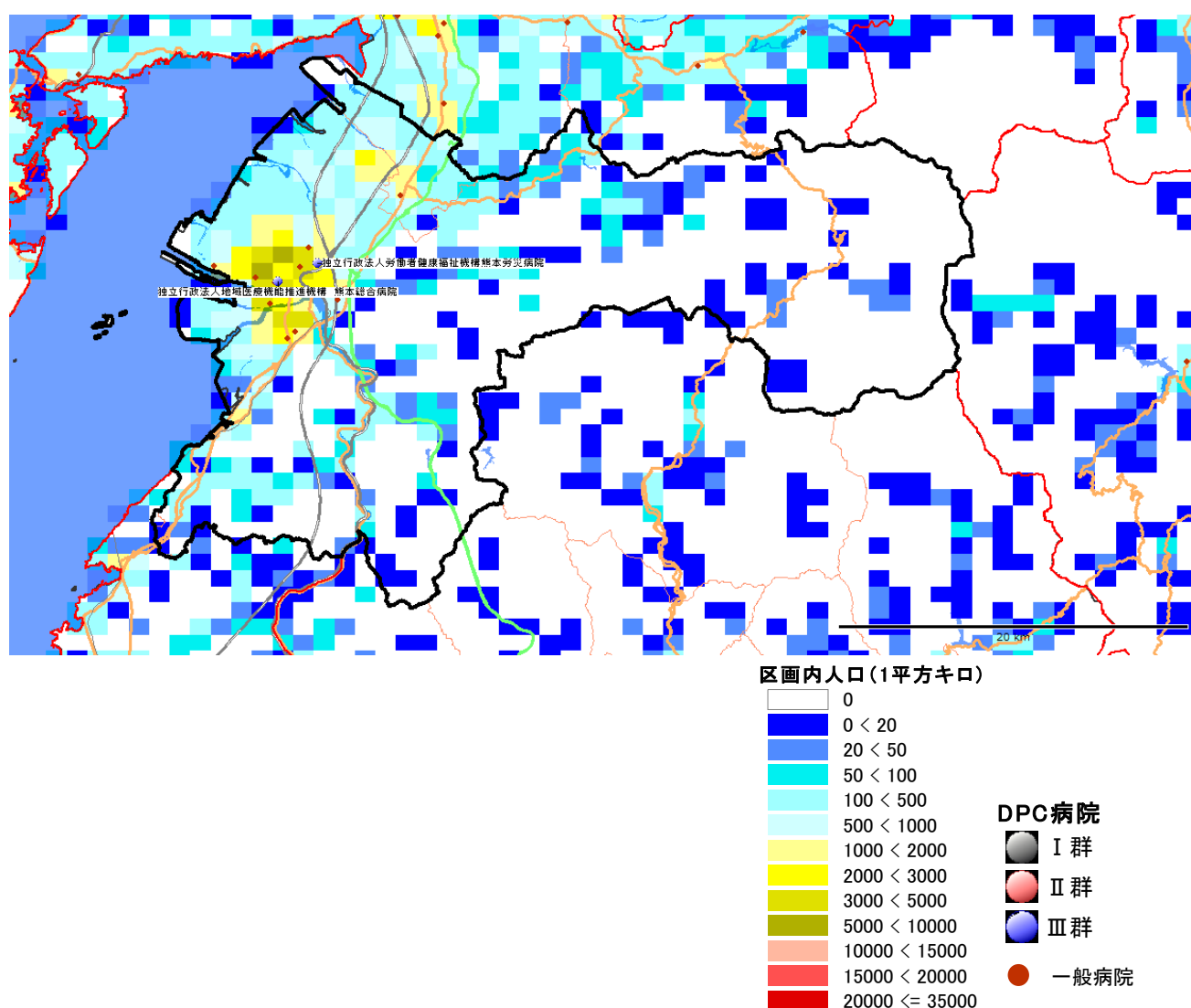


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-8. やっしろ 八代医療圏

構成市区町村¹ [八代市, 氷川町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 八代医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(八代医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八代(八代市)は、総人口約 138 千人(2015 年推計)、面積 714 km²、人口密度は 194 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八代の総人口は 2025 年に 124 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 102 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 24 千人が、2025 年にかけて 27 千人へと増加し(2015 年比+13%)、2040 年には 26 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八代の一人当たり医療費(国保)は 320 千円(偏差値 52)、介護給付費は 290 千円(偏差値 61)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八代の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.39 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 48、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 67 と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 51 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 55 とやや多い。八代には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の熊本労災病院、熊本総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 58 と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 45 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 64 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 57 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八代の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2037 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1650 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 387 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1614 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 55、有料老人ホーム 38、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 41 で

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

ある。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、456 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

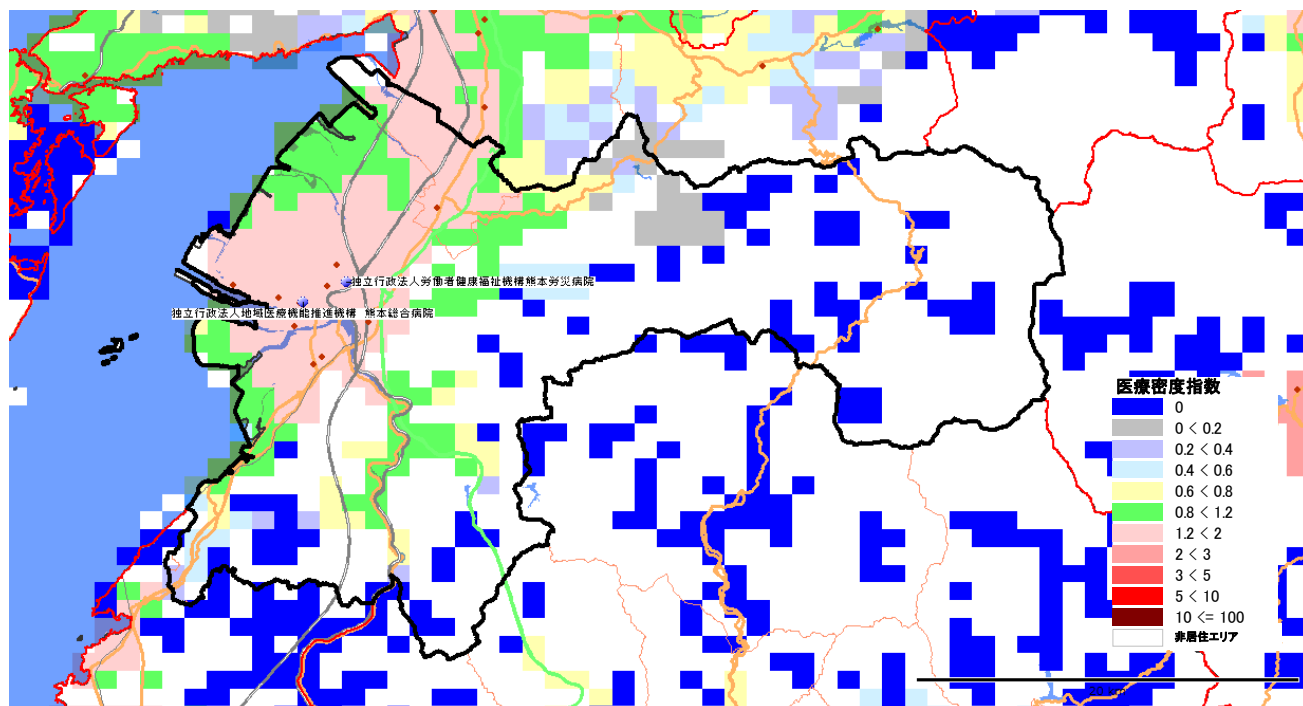
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－14%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

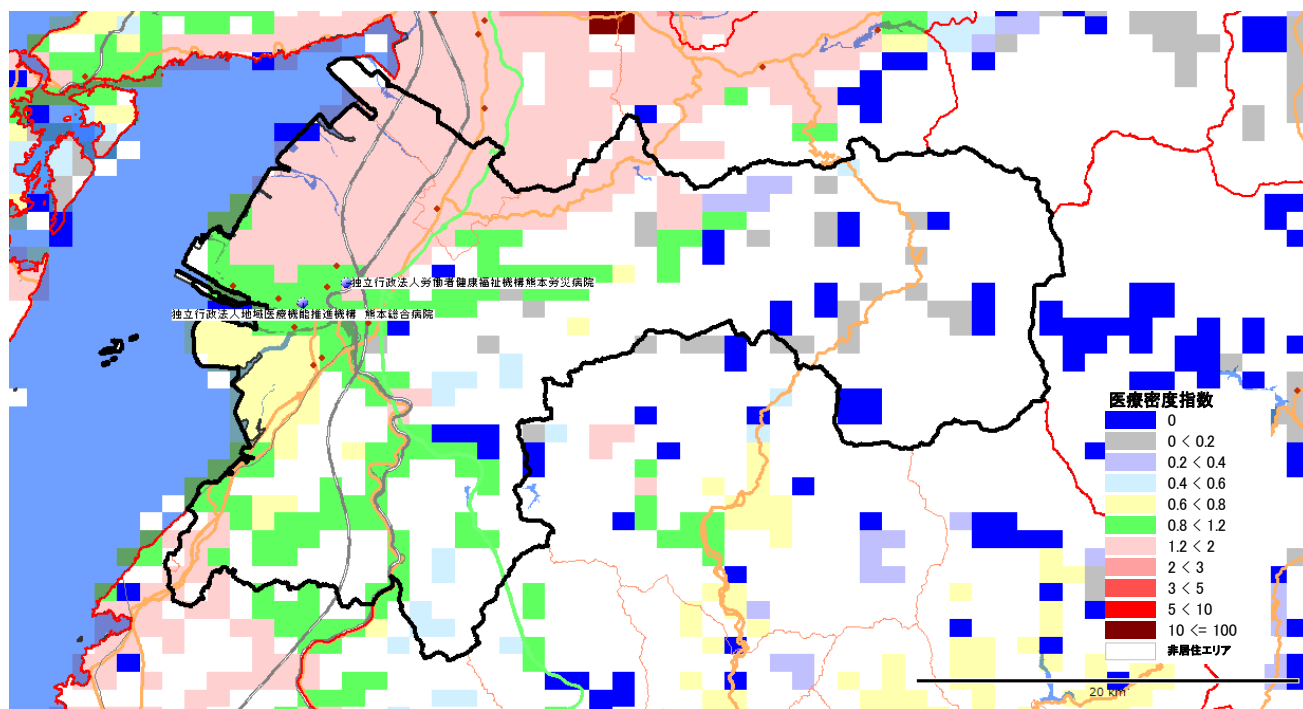
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-8-2 慢性期医療密度指数マップ

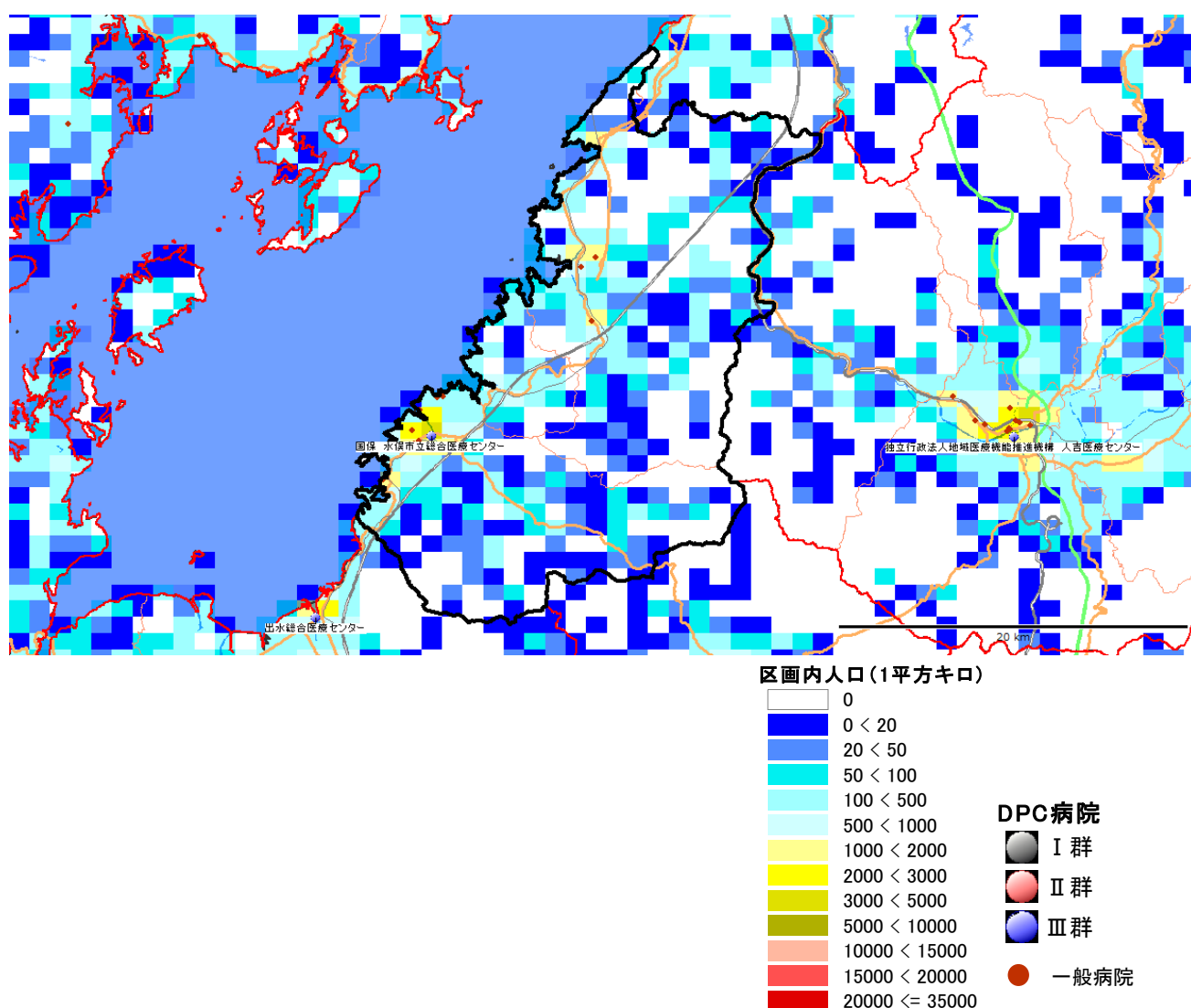


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-9. あしきた 芦北医療圏

構成市区町村¹ 水俣市, 芦北町, 津奈木町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 芦北医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(芦北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 芦北(水俣市)は、総人口約 48 千人(2015 年推計)、面積 431 km²、人口密度は 110 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 芦北の総人口は 2025 年に 40 千人へと減少し(2015 年比-17%)、2040 年に 31 千人へと減少する(2025 年比-23%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 10 千人が、2025 年にかけて 11 千人へと増加し(2015 年比+10%)、2040 年には 9 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 芦北の一人当たり医療費(国保)は 473 千円(偏差値 89)、介護給付費は 284 千円(偏差値 59)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 芦北の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.94、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.37 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 60(病院医師数 61、診療所医師数 56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 92 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 90 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 44 と少ない。芦北には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の水俣市立総合医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 77 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 58 と多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 74 で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 62 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 芦北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1021 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 816 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 205 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、845 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 60、介護療養型医療施設 68、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 61、サ高住 35 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 72 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、89 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

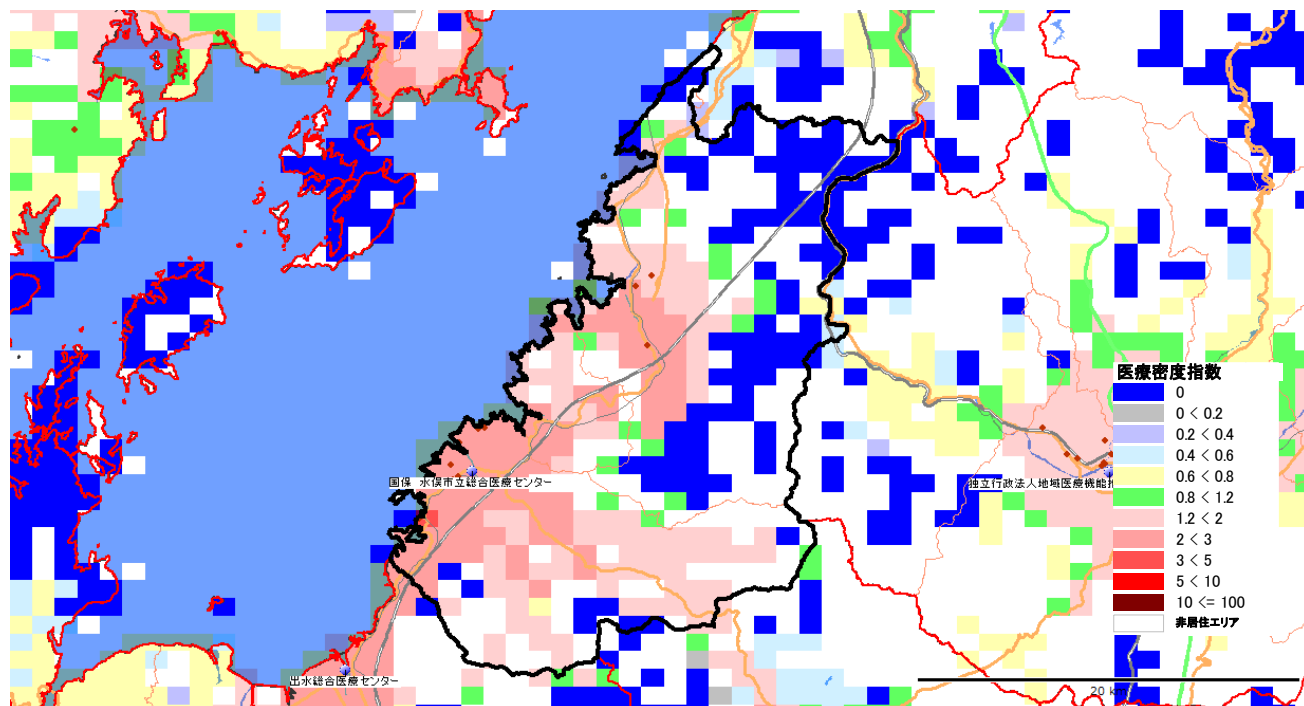
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+16%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+24%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

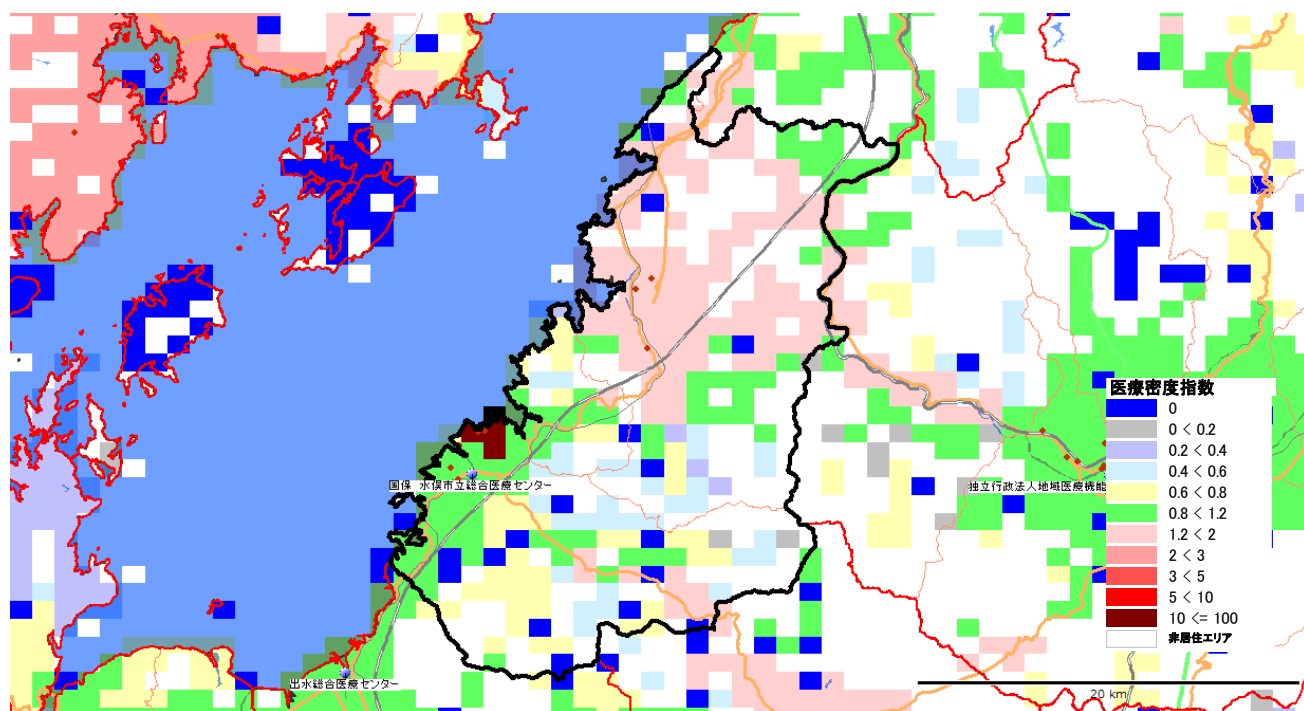
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-9-1 急性期医療密度指数マップ



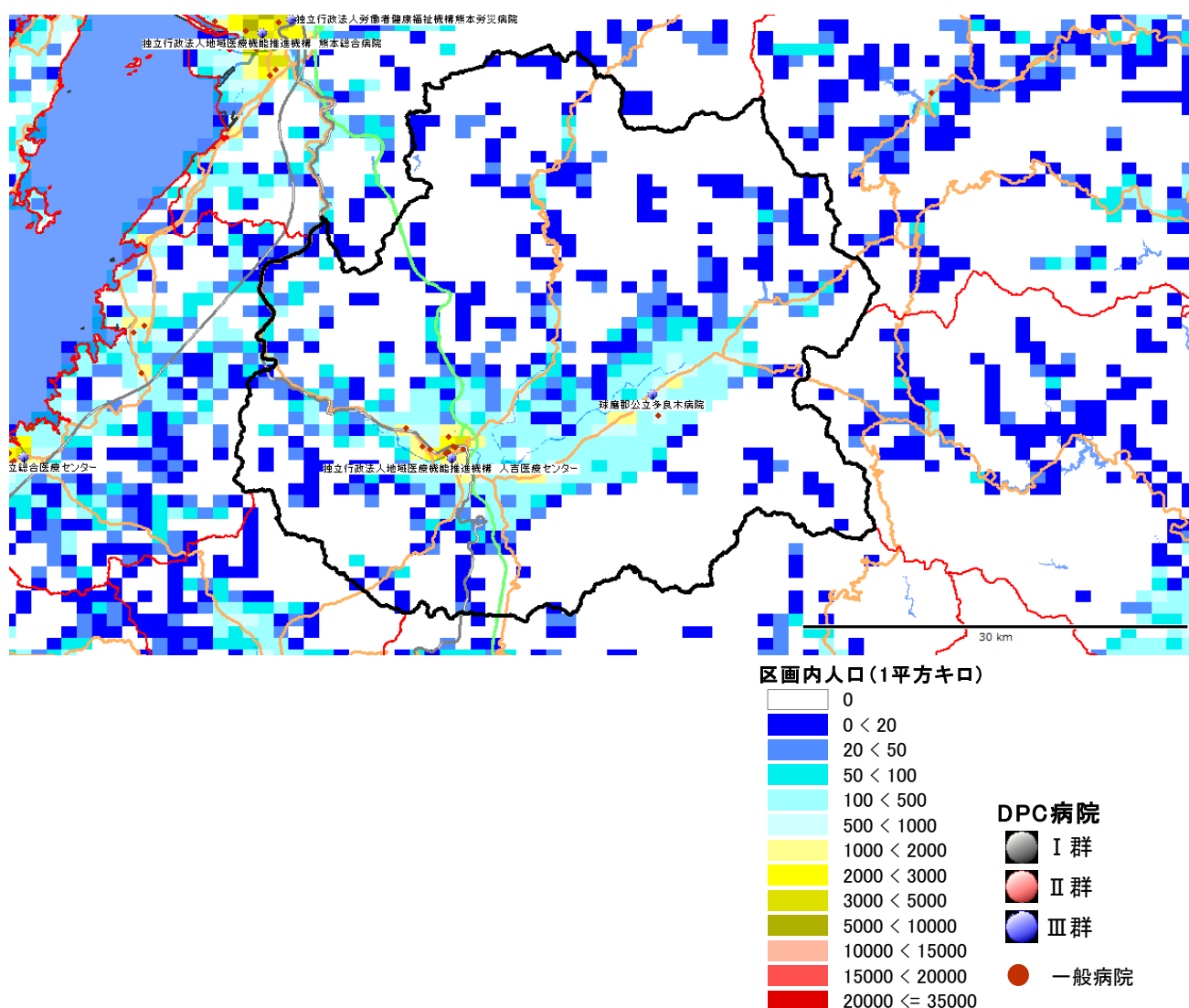
図表 43-9-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

43-10. くま 球磨医療圏

構成市区町村¹ [人吉市](#), [錦町](#), [多良木町](#), [湯前町](#), [水上村](#), [相良村](#), [五木村](#), [山江村](#), [球磨村](#), [あさぎり町](#)
人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 球磨医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(球磨医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 球磨(人吉市)は、総人口約 89 千人(2015 年推計)、面積 1537 km²、人口密度は 58 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 球磨の総人口は 2025 年に 78 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 62 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 18 千人が、2025 年にかけて 18 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 17 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 球磨の一人当たり医療費(国保)は 346 千円(偏差値 59)、介護給付費は 311 千円(偏差値 66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 球磨の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は 4.56 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 47、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。球磨には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の人吉医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 68 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 45 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 59 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 球磨の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1794 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1475 床(偏差値 69)、高齢者住宅等が 319 床(偏差値 37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1514 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 56、特別養護老人ホーム 65、介護療養型医療施設 62、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 50、サ高住 42 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 77 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、175人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

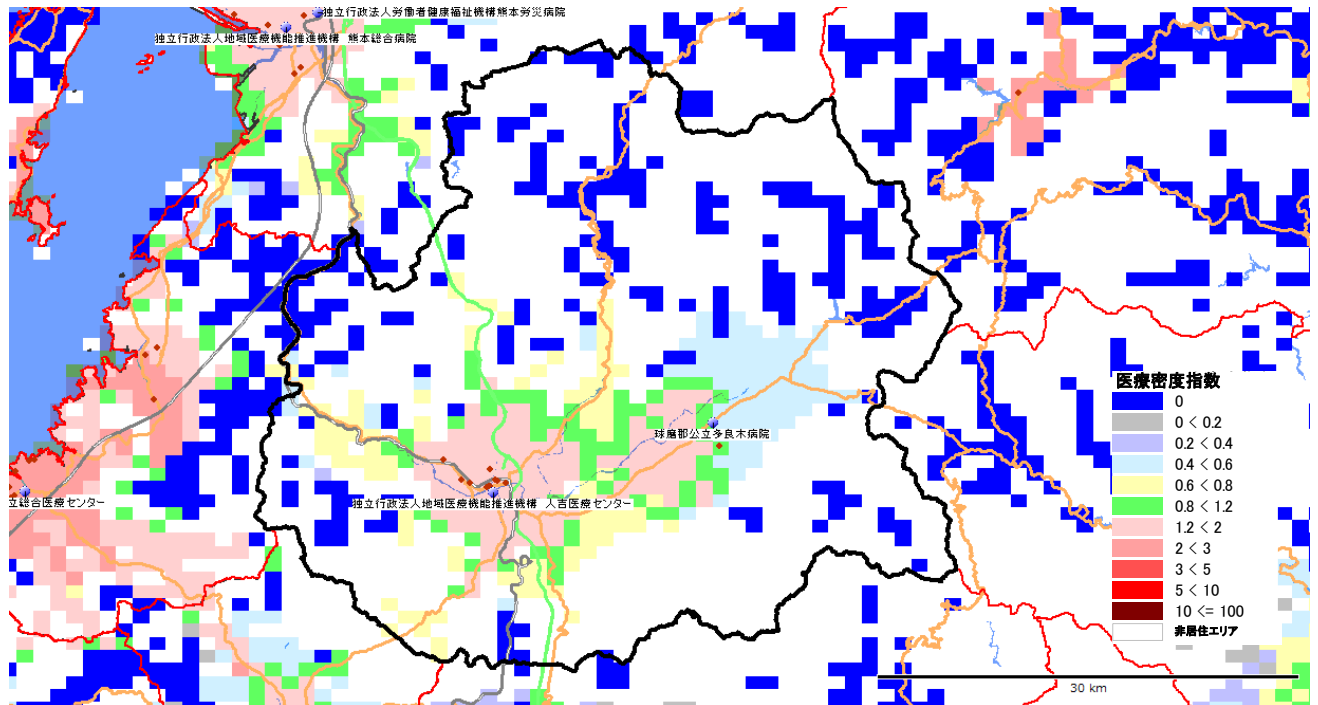
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

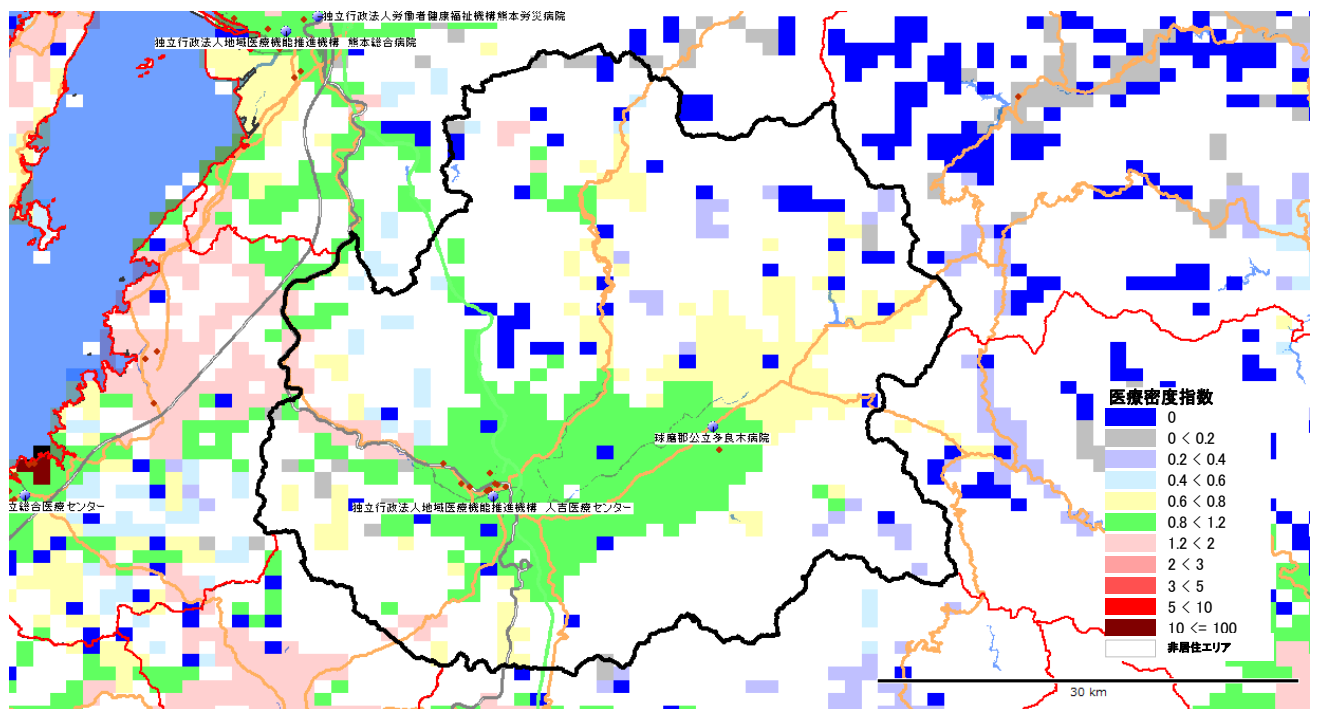
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-10-2 慢性期医療密度指数マップ

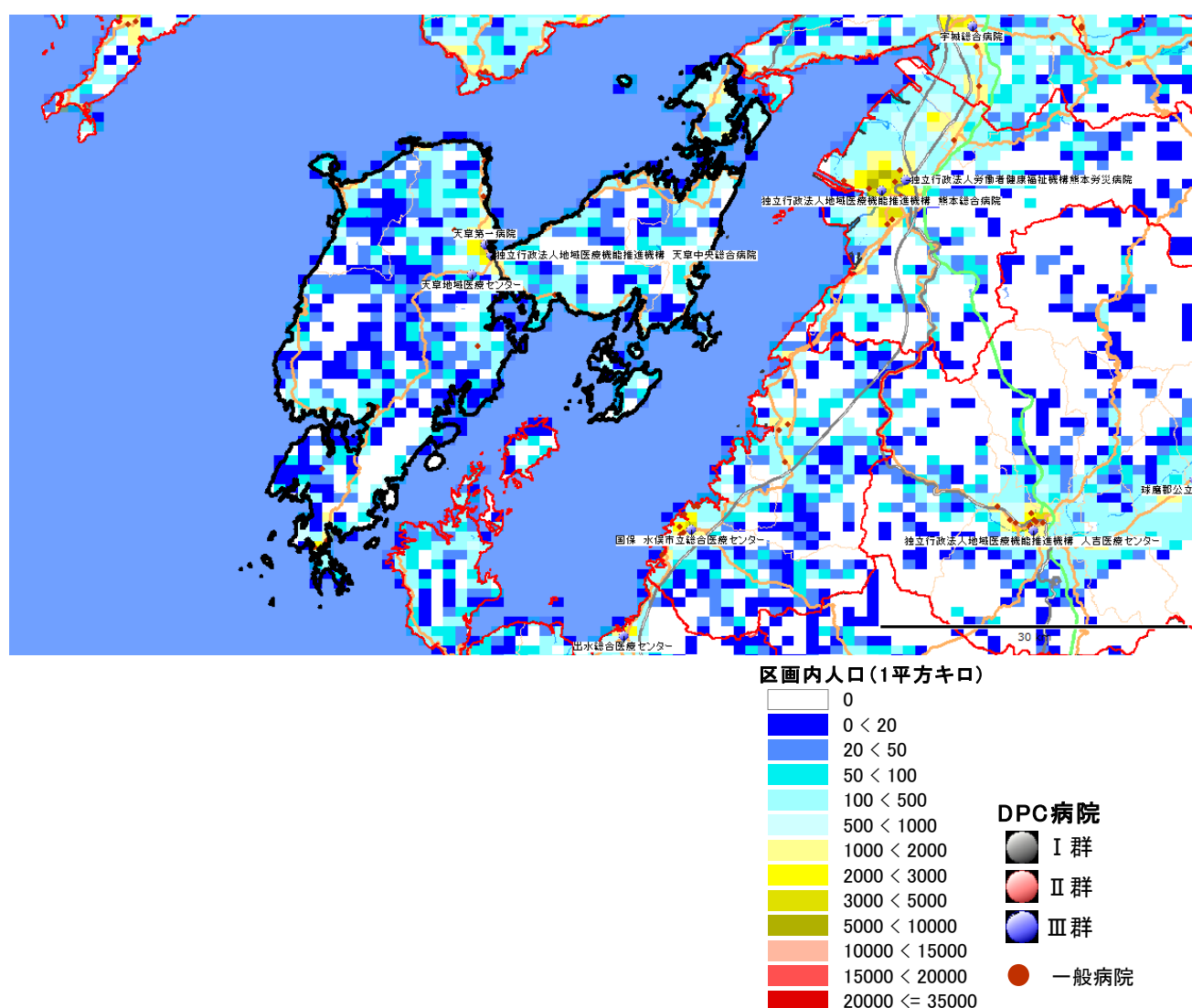


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

あまくさ 43-11. 天草医療圏

構成市区町村¹ [上天草市](#), [天草市](#), [苓北町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 天草医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(天草医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 天草(天草市)は、総人口約 117 千人(2015 年推計)、面積 876 km²、人口密度は 134 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 天草の総人口は 2025 年に 99 千人へと減少し(2015 年比-15%)、2040 年に 74 千人へと減少する(2025 年比-25%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 25 千人が、2025 年にかけて 25 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年には 24 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 天草の一人当たり医療費(国保)は 379 千円(偏差値 67)、介護給付費は 283 千円(偏差値 59)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 天草の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.65 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 48、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 76 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 36 と少ない。天草には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の天草地域医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 88 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 65 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 天草の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2272 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1979 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 293 床(偏差値 32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2017 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 63、介護療養型医療施設 54、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 49、

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

サ高住 33 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 53 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、199 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

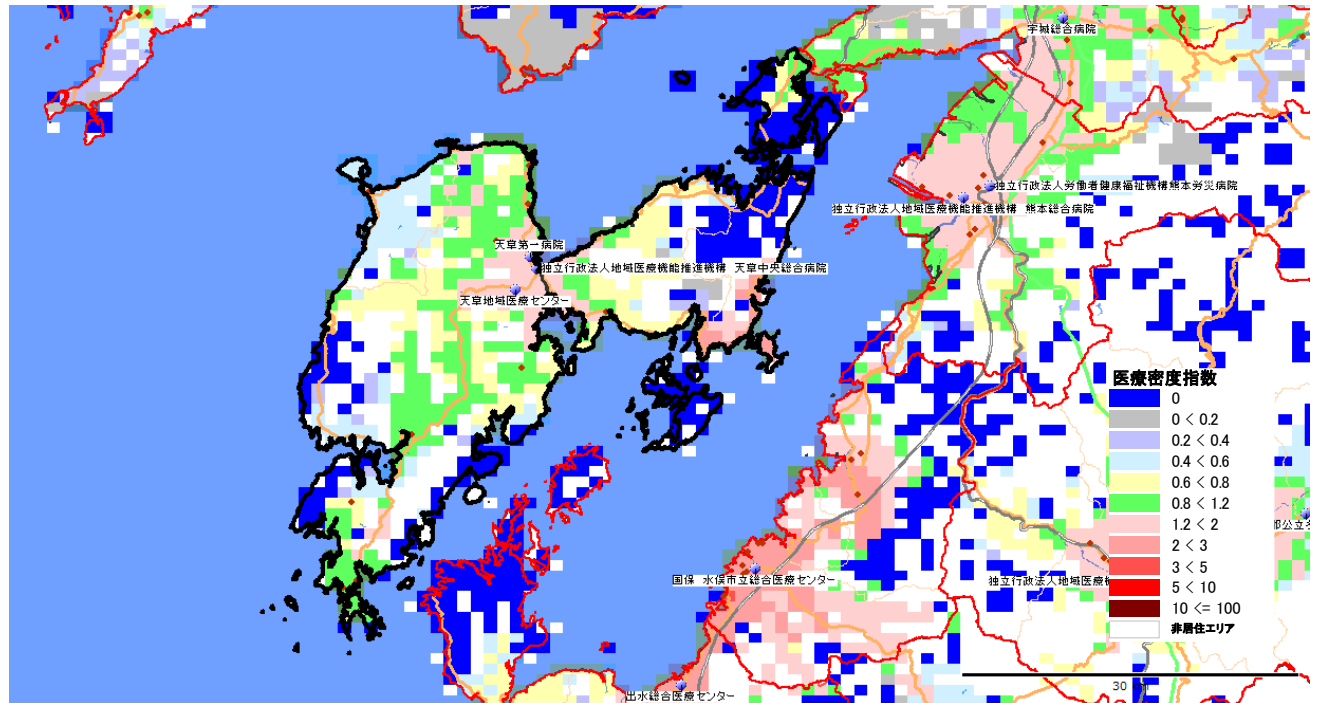
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は+13%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

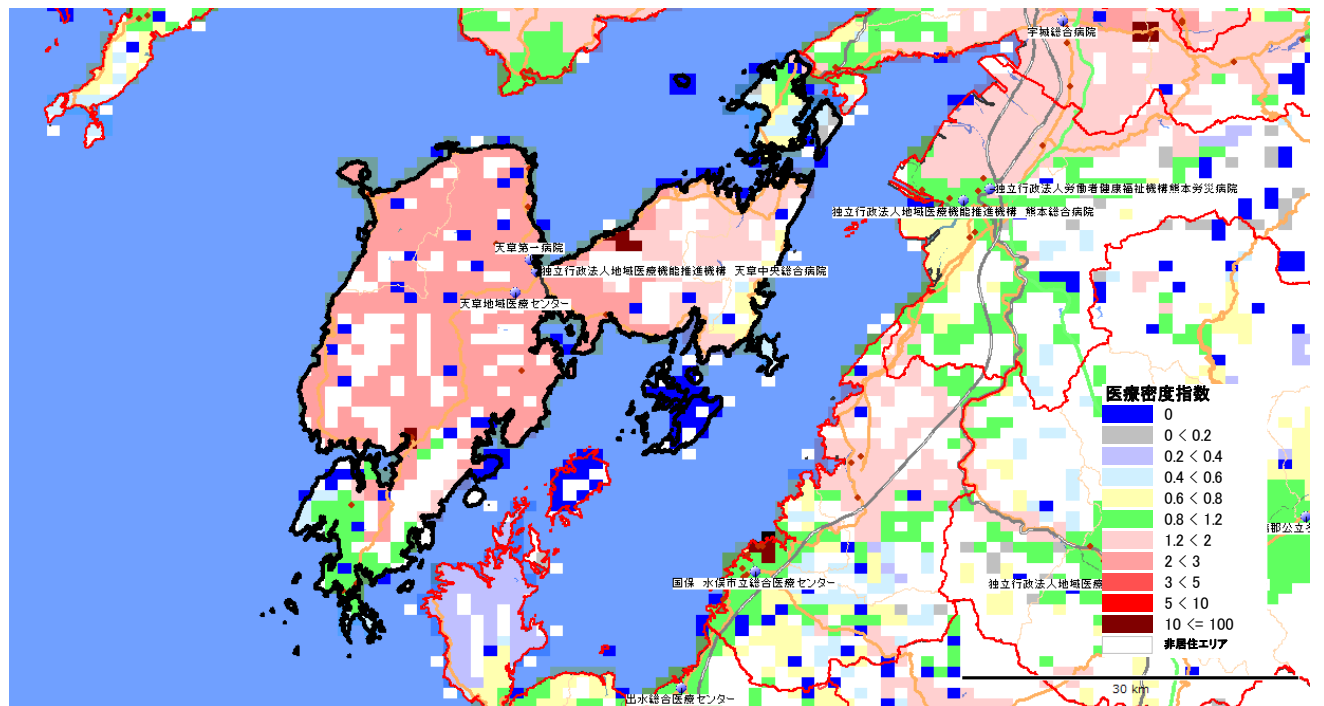
43. 熊本県

2. 医療密度⁵

図表 43-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表 43-11-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。